

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS



平素より私の政治活動に対しまして、格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。

1月28日に八潮市で発生した道路陥没事故では、関係機関の協力のもと、安否不明者の救出活動を最優先とした応急措置が行われています。今回のような事故を未然に防ぎ、必要不可欠なインフラの老朽化対策が十分に確保されるように提言を続けていきます。

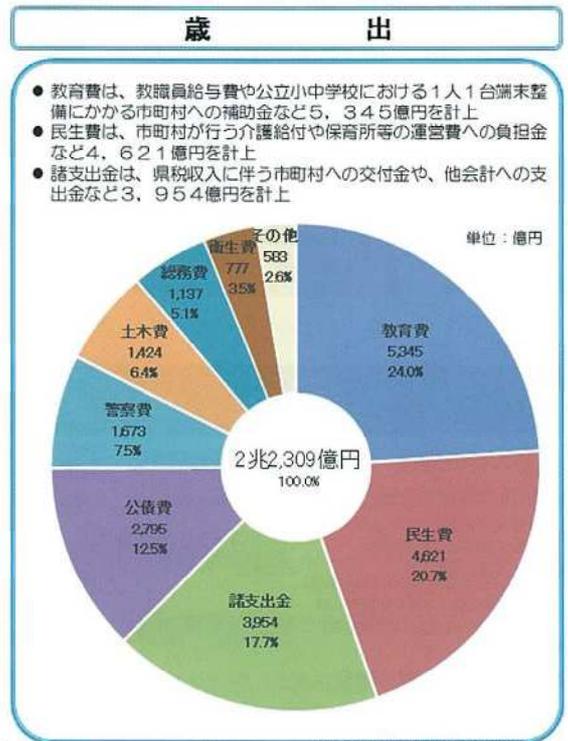
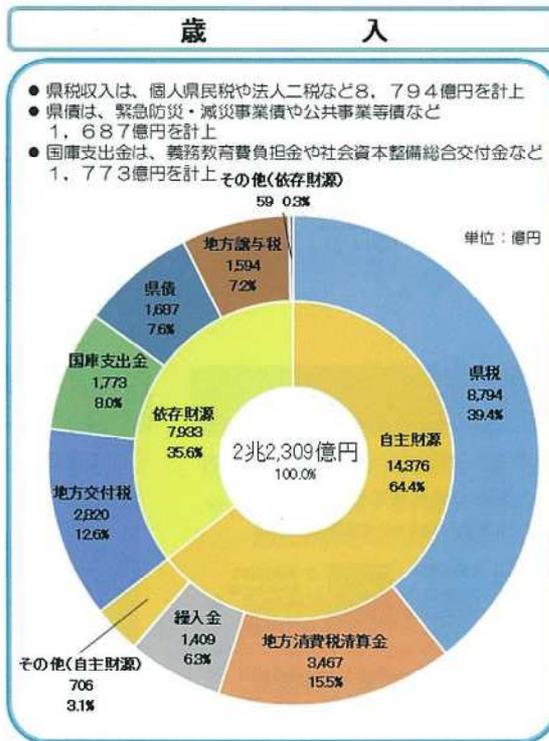
地域のご相談も随時お受けしておりますので、お気軽に事務所までお問い合わせ下さい。

結果を出す政治

命を守る県土強靱化へ

令和7年度一般会計2兆2,308億9,000万円(前年度比+5.2%)を議決

埼玉県でも人口減少・超少子高齢社会の到来と激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という、大きな課題に直面しています。こうした中で、社会全体の生産性の向上や持続可能なまちづくり、こどもまんなか社会の実現に向けた子育て支援、人手不足対策等による強い経済の構築が必要です。2月定例議会では令和7年度一般会計当初予算2兆2,308億9,000万円や下水道事業会計補正予算50億円等を審議し、議決しました。



昨年1月の能登半島地震、8月の日向灘における地震と南海トラフ地震臨時情報の発表、また、台風10号による大雨災害や奥能登豪雨などの水害が発生しました。7月から8月には県内各地で大雨の被害が数多く発生したところ。このような自然災害は、近年、激甚化・頻発化していることから、県民が将来にわたり安心・安全に生活するためには、県民生活の礎となる強靱な県土づくりがますます重要になっています。八潮市で発生した県道陥没事故は、老朽化するインフラの維持・更新という大きな



課題があらためて浮き彫りとなりました。かねてから強靱な県土づくりを目指し、自然災害から県民の安全・安心な生活を守るために、公共事業費の予算を増大すべきと要望し続けています。公共事業費の推移は、令和4年度から6年度にかけては、横ばいが続いていますが、令和7年度を見てみますと、前年度比より112億増の1,123億円となっており、過去10年間では、最大の予算額となっています。

日本一暮らしやすい埼玉に向けた取り組み

① 歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 持続可能なまちづくりと経済成長の実現①

一部新 「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出 3億9,537万2千円

出会い、つながり、共創するイノベーション創出拠点

埼玉初！令和7年夏開業予定 @さいたま新都心

【設備】・コワーキングスペース・個別ブース・ラウンジ・イベントスペース等

◆ スタートアップの創出・成長支援

- シード期（起業前）及びアーリー期（起業初期段階）のスタートアップを対象に短期集中型の伴走支援プログラムを実施

◆ オープンイノベーションの創出・促進

- 中小企業等を対象とした意識醸成セミナー、ワークショップを実施
- 社会課題や企業課題を協業により解決する「共創プログラム」を実施

◆ イノベーションを担う人材の育成

- 大学生を対象とした起業伴走プログラムを実施
- アントレプレナーシップ教育推進のための大学間ネットワークの運営

◆ 共創プログラム

- 企業同士のマッチングによる協業の伴走支援
- 協業プロジェクトに対して支援金を支給（500万円×15件）

ホスト企業：県内中小・SU、大・中堅企業
パートナー企業：全国の企業、県内中小・SU

① 歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 持続可能なまちづくりと経済成長の実現②

一部新 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 15億8,470万円

プロジェクトに取組む市町村数 合計56団体

◆ 中小企業の省力化支援

- 専門家派遣による省力化への助言
- 人手不足の課題解決に資する機器等の導入、設備更新に対する補助

導入 上限額 200万円 補助率 1/2
更新 上限額 750万円 補助率 1/2

◆ 物流効率化の支援

- 集合住宅への宅配ボックス設置事業を行う市町村に対し補助

上限額 10万円/棟
補助率 市町村負担額の1/2

◆ 専門派遣等による市町村支援

- アウトリーチ型支援として、地域まちづくり計画の策定を支援

◆ プロジェクトに取組む市町村への補助

① 事業化検討補助	② 事業推進補助
補助率1/2 補助上限 500万円 まちづくりの事業化に向けた検討費用	補助率1/2 補助上限 5,000万円 まちづくりに関するソフト・ハード事業

① 歴史的課題への挑戦 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

一部新 自然災害への備え 335億3,945万1千円

◆ 大規模災害時の通信機能の強化

- インターネット環境を確保する衛星通信機器を27基導入
- 行政機関間の情報共有体制を維持
- 孤立集落の通信障害時にも活用
- 平常時には設置訓練やイベント等で活用

◆ 流域治水対策の推進

- 中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの推進
- 新方川で新たな調節池の整備に着手
- 既存施設の有効活用策の検討

◆ 緊急性の高い防災・減災対策の強化

- 樹りよりの耐震化、河川堤防の補強などを実施

令和6年度 134 億円 > 令和7年度 254 億円 (+120億円)

【対策後】

① 歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 「こどもまんなか社会」の実現①

新規 こどもの声を聴く「埼玉県こども会議」 445万5千円

- 小学生～高校生が県政に対し意見を表明する「埼玉県こども会議」を設置・運営
- こどもたちの意見を施策づくりに生かすとともに、反映状況等を県ホームページで公表

◆ 保育士の確保・定着 1億6,509万6千円

◆ 新卒保育士の就職支援

- 就職準備金貸付の拡充
- >20万円コースに加え、新たに30万円コースを創設
- >県外からの転居に10万円加算

◆ 保育士の復帰・復職のサポート

- 保育士がこどもを預ける際の保育料を半額支援
- >支援期間を保育料無償化となる3歳児まで延長

◆ 朝のこどもの居場所づくり 557万4千円

- 「朝のこ1の壁」を解消するため、小学校始業前の朝の時間にこどもを預かる場を整備
- >モデル事業に取り組み市町村へ補助（補助率2/3）

① 歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 「こどもまんなか社会」の実現②

一部新 特別支援学校の整備 14億4,969万9千円

障害のある児童生徒の教育環境の充実

事業内容	設置場所（開校・校舎供用予定年度）	受入規模
新校設置	東東部地域特別支援学校（仮称）（R12） *再編整備後の県立八潮高等学校跡地	250人
	県西南部地域特別支援学校（仮称）（R11） *ふじみ野市立東台小学校跡地	150人
既存校の改築	県立光南特別支援学校（R12）	160人増
既存校の増設	県立川口特別支援学校（R8-R10）	174人増

◆ 県営公園の安全安心向上 1億9,850万円

- 園内のこども広場などにおいて、防犯カメラを増設し、管理事務所からの遠隔監視により警備を強化
- >権現堂公園など6公園に40台設置予定

犯罪からこどもを守るための環境整備を推進

② 「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現（安心・安全の追求） 県民の暮らしの安心確保

一部新 警察活動の強化 4億899万6千円

◆ 警察官の増員 全国最多

- 全国476人の増員のうち、175人の増員
- >サイバー空間における対応能力強化
- >匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取締りの強化

◆ ダークウェブ上における情報収集力の強化

- 脅威情報を安全に検索・分析が可能なソフトウェアライセンス導入
- >脅威の早期検知
- >事件情報の効率的な収集

一部新 消費者被害対策の推進 3,174万5千円

- 県消費生活支援センターにAI電話を導入
- 支援員の配置による市町村相談体制の広域化、DX化の推進

◆ 民生委員の担い手確保 3,741万円

- 市町村が実施する、民生委員の負担軽減や担い手確保に向けた取組を支援
- >民生委員をサポートする協力員制度の導入
- >オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員活動の効率化

② 「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現（安心・安全の追求） 介護・医療体制の充実

一部新 人材の確保 6億7,993万5千円

◆ 医師の働き方改革の推進と偏在是正

- 長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助
- 地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助

◆ 外国人介護人材の確保

- 採用未経験事業者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介
- 事業所が登録支援機関等に支払う初期費用の補助
- 資格取得、住宅確保等に係る費用の補助
- 県内に於ける均一賃金制度の導入
- 均一賃金制度の導入

◆ 75歳以上の搬送困難患者の受入体制強化 1億7,567万8千円

- 受入要請3回以内で受け入れるための体制確保への補助

◆ 夜間の小児初期救急患者の受入体制整備

- 22時から翌8時に受入れを行う拠点医療機関2か所の運営を補助

② 「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現（持続可能な成長） 豊かな自然と共生する社会の実現/儲かる農林業の推進

一部新 ネイチャーポジティブの推進 7,089万2千円

- 企業が主体となって希少種の生息環境の保全・管理を行う官民連携モデルの構築
- 地域のニーズや課題等を踏まえ、戦略的に取り組む市町村への支援

◆ 地域農業の担い手確保 6,658万5千円

- 新たな担い手確保に向け、大規模農家法人などを誘致
- >規模拡大や県内への参入を支援

◆ 水稲のカムシ類・高温被害への対策

- イネカムシ対策として広域防除を推進
- >地域で広域防除に取り組む団体等の支援
- >県内の防除委託体制を充足
- 高温耐性新品種 えみほころ の速やかな導入
- >栽培マニュアルの策定・現地実証
- >種子生産体制の整備

一部新 第75回全国植樹祭の開催 10億1,615万3千円

令和7年5月25日（日）開催まであと102日

会場：秩父ミュージアムパーク

- 会場の設置や式典の運営
- 森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「酒造」の発信

令和6年度一般会計補正予算（第5号） 国の経済対策に伴う補正 総額 557億8,677万1千円

◆ 生活者・事業者に対する光熱費等の緊急支援 116億4,250万6千円

- LPガスを使用する一般消費者等に対する支援
- >一般消費者等約146万世帯 1世帯当たり上限 1,500円
- 福祉施設、医療施設、私立学校等に対する支援
- >高齢者施設（入所）：21,900円～22,400円/定員1人
- >病院：27,000円～45,000円/床
- >私立高校：1,100円～1,260円/生徒1人
- >高産農家：10,600円/配合飼料1トン等

◆ トラック運送事業者に対する支援

- 貨物自動車：20,000円/台
- 貨物軽自動車：7,000円/台

◆ 中小企業等の経営体質の転換を促す支援 16億7,602万7千円

◆ 省エネ・再エネ設備投資への支援

- 対象：15年以上使用した空調設備等の高効率設備への更新、蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備等の導入
- 補助率：1/2 補助上限額：500万円



日本一暮らしやすい埼玉に向けた取り組み

すべてのこども・若者が将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す観点からも、こども基本法の施行やこども家庭庁の設置など、こども・若者の健やかで幸せな成長を後押しする動きが高まっていると思っています。このような中で、子育てに関する施策の更なる充実強化に向けて、本県における施策の基本的方向性を明らかにするとともに、社会全体で子育てを支える重要性を広く呼び掛けるために、「埼玉県こども・若者基本条例」を制定と予算の見える化を要望して参りました。結果的に286億円が増額され2200億円となりました。

また今年も団塊の世代すべてが後期高齢者となる年でもあり、医療や介護などの社会保障費の増大が懸念される2025年問題と呼ばれている年を迎えます。団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者となる令和22年に向けて現役世代人口が減少する一方で、介護ニーズの高い85歳以上の高齢者人口が全国トップクラスのスピードで増加することが見込まれます。今後の支出増は避けられない問題であります。本県が持続可能な成長を続けていくためには、費用対効果の高い真に必要な事業に財源と人材を重点的に取り組んで強化すべきだと思います。

地域の皆様にお集まりいただき県政報告会を開催いたしました!

2月1日朝霞市コミュニティセンターにて、県政報告会を開催したところ、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。「人口減少・超少子高齢社会への対応」「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」そして「日本一暮らしやすい埼玉」着実な実現に向けて、事業のスクラップアンドビルドを含めて財源を確保し、中長期的な視点に立った未来への投資をしていかなければならないと私は思っています。



皆さんに知ってほしいコト!

警察庁が2020年から5年間の交通事故を分析したところ、歩行中の死傷者は小学1・2年にあたる7歳が3436人で最多でした。

(3月27日警察庁発表)

6歳から12歳以下の歩行中の事故は、新学期が**とびだし注意**始まってからの4月から6月にかけて増加傾向で、「下校中」の事故が最も多く約26%を占めています。

自転車乗用中の死傷者は高校1・2年にあたる16歳が1万7141人で最多でした。小中高校生の自転車事故による死亡・重傷者数も4月から6月にかけて増加する傾向で、小学生は友人などの家に行く途中で事故に遭うケースが最多で約27%で、中学生は登校中が約20%でした。高校生では登下校中が約66%で、大部分を占めていることがわかりました。皆様の見守り、呼びかけで悲惨な事故を減らすことができますので、ご協力よろしくお願いいたします。



令和7年度
所属委員会が決まりました

- 産業労働企業委員会 委員長
- 行財政改革特別委員会 委員
- 決算特別委員会 副委員長
- 予算特別委員会 委員



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。
高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年
埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在2期目。
自由民主党朝霞支部長。災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」



松井ひろし
Instagram

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
メール: info@matsuihiroshi.com

令和6年(2024年) 秋号

吉川・松伏のために!! 県東南部の連携強化

埼玉県議会議員

松澤 正

県政報告

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202
Tel. 048-945-0992 / Fax. 048-918-3026
E-mail. info@matsuzawa-tadashi.com

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

役職 埼玉県議会副議長 / 所属委員会 環境農林委員会

県議会9月定例会報告

補正予算

【第1号】約50億1千万円 【第2号】約37億8千万円等を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日までの日程で開催され、一般会計補正予算【第1号】50億1,156万2千円、補正予算【第2号】37億7,531万7千円、さらに、私たち自民党議員団が提案した「県こども・若者基本条例」等を議決しました。

補正予算【第1号】は、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や新生児マススクリーニング検査の対象拡大のための予算措置、公共事業の追加・適正工期の確保など、当面对応すべき事業等が盛り込まれました。補正予算【第2号】は衆議院議員総選挙等に伴う経費で、その財源は全額国庫支出金となります。



県議会副議長として議事を進行(10月3日)

皆様からのご意見を参考に審議を重ね提案

埼玉県こども・若者基本条例



「県こども・若者基本条例」は、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また「①子どもらが有する権利を保障する。②子どもらの最善の利益を優先する。③保護者が子育てに希望を感じ、幸せに過ごすことができる環境を整備する。④社会全体で子育てを支える。」ことを基本理念として県の責務を明記。国や市町村との役割分担を踏ま

えながら、子育て支援などの施策を総合的、計画的に進めるよう求めるとともに、県民や学校、民間支援団体などに対しては、施策への協力を働きかける内容となっています。

施行は令和6年10月18日からです。

※埼玉県こども・若者基本条例の全文はこちらからご参照ください。➡



通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の経済的負担の軽減………7,153万3千円

概要

医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する

事業イメージ



効果

医療的ケア児の保護者負担の軽減

新生児マススクリーニング検査に関する実証 ……1億4,138万5千円

概要（国の実証事業への参加）

*さいたま市を除く県内すべての分娩取扱機関で出生した新生児

2疾患を追加した検査の対象を**全新生児***に拡大する

対象疾患

重症複合免疫不全症(SCID)

出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患

脊髄性筋萎縮症(SMA)

筋力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患

実施機関数 25 ⇒ 86機関 (さいたま市を除く県内分娩取扱機関)



検査体制



副議長として公務に日々邁進

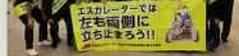
防犯のまちづくり街頭キャンペーンに参加

防犯のまちづくり協議会による街頭キャンペーンが10月11日、JR浦和駅にて行われました。大野知事も参加し、自転車のチェーンロックの配布をしました。



エスカレーターの安全利用キャンペーンに参加

今年「埼玉県エスカレーターの安全利用の促進に関する条例」が施行されて3年となる事から、鉄道事業者と連携して、県内主要駅にて安全利用キャンペーンを行っています。9月20日は八潮駅にて、県民生活部長をはじめとする県職員、八潮市職員、そして首都圏新都市鉄道(株)と日本生命保険相互会社八潮営業所の方々が参加し、利用者の皆さまに「エスカレーターは歩かず走らず」と訴えました。



9月26日はJR浦和駅にて、大野元裕知事はじめ浦和高等学校アウトドア部の生徒、文京学院大学経営学部学生、JR東日本(株)、さいたま市職員、日本生命社員、伊藤丹澤和彦社長、ハルニシ建設社長、県選挙権法士の皆さまも参加してくださいました。

赤い羽根募金活動に参加

毎年恒例となります福祉振興連の「赤い羽根募金活動」を10月1日、JR浦和駅で行いました。大野元裕知事はじめ、さいたま市立高校と浦和ルーテル学院初等科の生徒有志も参加されました。



「治水の日」慰霊・継承式典に参列

第30回「治水の日」慰霊・継承式典が9月13日に開催され、県議会を代表して参列しました。加須市新川通地先にあるカスリーン公園のカスリーン台風決壊口跡の碑を前に、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、この教訓を風化させることなく後世に語り継ぎ、治水整備にしっかり取り組むことを誓いました。



吉川美南高校でのシェイクアウト訓練に参加

県立吉川美南高校で9月2日、始業式後のシェイクアウト訓練に参加させていただきました。訓練の後は3年生の教室にて、訓練についての感想などをお聞きすることができました。みなさんご協力、ありがとうございました。



「風水害対応訓練」を実施しました

9月30日、県は「風水害対応訓練」を実施しました。朝8時半に知事が「埼玉県災害本部」を設置したことを受け、45分に斉藤邦明議長が「埼玉県議会災害連絡本部」を設置するとともに、議事事務局より各議員に一斉メールにて「①安否状況、②所在地、③自宅や周辺の被害状況、④地元の情報、等」の収集を実施。その報告に基づきオンライン会議が開催され、意見収集の結果と対応を協議しました。初の試みでしたが、昨今の災害多発に備えてさらに強化していきたいと思っております。



県議会災害連絡本部によるオンライン会議の様子。写真中央は斉藤邦明議長、右側は宇田川幸夫副議長、議長秘書長。

吉川中央病院50周年記念式典に出席

地域医療の拠点として高度な医療を提供し続けている吉川中央病院が今年、開院50周年となります。10月5日には記念式典が開催され、土屋品子代議士(前復興大臣)のご祝辞を申し上げます。長く、吉川市民をはじめ近隣の方々の健康と生命を守る事に従事され50年。今後も変わらぬご尽力をお願い致します。



(株)丸和運輸機関様が寄附に来庁

埼玉県子ども動物自然公園では、オーストラリアに生息するクオッカを飼育しており、新たな施設を整備するためのクラウドファンディングを9月末を期限に行っていました。9月30日、(株)丸和運輸機関様が伊藤高副知事に寄附を届けに来庁されました。当日は動物園が休園日ということもあり、田中理恵子園長も同席され、クオッカの魅力等をご紹介いただきました。



写真左から伊藤高副知事、田中理恵子園長、株式会社丸和運輸機関 和泉寛代表取締役社長、私。

自民党看護振興懇話会に出席

9月定例会会期中の9月27日、県議会にて自民党看護振興懇話会が開催され、看護協会の皆さまと看護を取り巻く環境や今後の課題などについて意見交換を行いました。



県議会常任委員会

環境農林委員会に出席

10月2日の県議会は常任委員会の開催日で、私は所属する環境農林委員会に出席しました。はじめに環境部から「第84号議案 埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例に係る手数料に関する条例」の審査があり、質疑答弁の後、総員を持って可決

となりました。次に農林部からは行政課題の報告として、埼玉県農林関係研究機関が育成した品種「①水稻新品種「えみほころ」、②ニホンナシ新品種「彩姫・彩彦」、③茶新品種「さやまあかり」、④少花粉スギ」についての説明があり質疑応答。その後、所管事務調査として、国が実施している「みどりの投資促進税制」の詳細について、質疑が行われました。写真は委員会開会前の様子。



松澤正県議会議員事務所

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202 TEL. 048-945-0992 / FAX. 048-918-3026



松澤正



令和7年(2025年) 冬号

吉川・松伏のために!! 県東南部の連携強化

埼玉県議会議員

松澤 正

県政報告

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202
Tel. 048-945-0992 / Fax. 048-918-3026
E-mail info@matsuzawa-tadashi.com

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

役職 埼玉県議会副議長 / 所属委員会 環境農林委員会

県議会12月定例会報告

補正予算【第3号】**光熱費高騰対策費**約**9億5,707万円**等を議決

県議会12月定例会は12月2日から20日まで開催され、一般会計補正予算【第3号】9億5,707万3千円等を議決しました。補正予算【第3号】は、県有施設等(学校や図書館、信号機や道路照明等)における光熱費高騰に対応するための経費になります。

また、防災拠点校の体育館に空調設備を早期に整備するため、債務負担行為(来年度の支出としてあらかじめ決める)限度額5,539万円が設定されました。これは、能登半島地震の教訓を踏まえて、防災拠点校全36校の空調設備の設置スケジュールを前倒しで進めるための措置です。ほかに公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保のため、債務負担行為限度額258億3,552万6千円(繰越明許費186億3,447万5千円)の設定が議決されました。



元旦にテレ玉で放送される県議会広報番組「こんにちは県議会です」の新春インタビューの収録が、11月27日に行われました。左側は進行役のテレ玉アナウンサー 野口美和さん。

防災拠点校への空調設備設置の前倒し <債務負担行為の設定 限度額5,539万円>

概要

長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、**防災拠点校* 10校**の体育館の空調設備設計を**前倒し**、早期に着手する。

* 備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置等を備えた学校。
全ての防災拠点校に自家発電装置が整備されており、停電時でも空調稼働が可能

設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定)

※R7末統廃合予定の拠点校1校を除く

区分		R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計	7	7		22
	工事		7	7	22
前倒し	設計	7	7+10	12	
	工事		7	7+10	12

効果

今回提案分

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善

体育館空調設置イメージ



県政のさらなる発展と安心・安全の実現に全力で取り組む埼玉県議会自由民主党議員団(全56名)

副議長として公務に日々邁進

カメムシ被害で農家支援を知事に要望

自民党議員団は11月15日、今夏のカメムシによる農業被害に対する緊急要望書を大野元裕知事に提出しました。

県東部では、コメに付く「イネカメムシ」が前年の約8倍確認されていることを県も認めています。要望書では、広域の集団防除で、①カメムシを越冬させない対策、②農薬による防除や防虫ネットへの補助、③影響を受けた農家への融資制度創設等を実施するよう求めています。

▶要望書を受け取った大野知事からは「全体の被害状況を把握した上で、市町村の農協と連携し、防除の実施や支援策を検討したい」との言葉をいただきました。



10月29日、カメムシ被害の現状を県職員に確認してもらうための農場視察を急遽行いました。参加者は小島信昭県議(さいたま市青根区)、白土春仁県議(春日部市・議員団副会長)、高橋裕祐県議(加須市)と私。県職員は農林部長をはじめとする幹部職員、そしてJAさいかつの幹部職員。先ずは農業法人永瀬農産(吉川市)にて、現状の説明や意見交換を行い、その後、松伏町に移動。松伏町役場にて鈴木藩町長ら4人の方から状況説明を受け、厳しい現状と対策について話し合いました。



11月6日、カメムシによる米被害状況を埼玉県及び農林水産省関東農政局に把握していただくため、JA南彩本店にて意見交換会が行われました。生産者の方々から切実な実態を説明していただき、農政局の方々にも課題をしっかりと認識していただきました。

■沖縄埼玉の搭追悼式に出席

沖縄埼玉の搭追悼式が12月15日に開催され、県議会を代表して出席しました。



埼玉の搭は昭和41年11月25日に建立され、毎年11月25日に追悼式が行われ、今年は59回を迎えたとのこと。私も追悼の言葉と献花を行わせていただきました。平和の尊さと、生まれ育った祖国・地域と家族を守るために尊い生命を落とした方々への思いを強く感じ、二度とあってはならぬと心に誓いました。



■暴力追放・薬物防止県民大会に出席

第34回暴力追放・薬物乱用防止埼玉県民大会が11月21日、埼玉会館(さいたま市浦和区)で開催され、議会を代表して出席しました。暴力追放功労者と功労団体、暴力追放・薬物乱用防止功労者と功労団体への表彰が行われました。



■埼玉県商工会議所議員大会に参加



第60回埼玉県商工会議所議員大会が10月30日、パレスホテル大宮で開催され出席しました。埼玉県の経済活動に率先して活動し60年。尽力された方々の表彰式も行われました。

■交通安全大会に出席

第22回交通安全大会が11月9日、三郷市文化会館で開催され出席しました。吉川警察署管内の三郷市・吉川市・松伏町で、交通安全にご協力いただいた101名の方々が表彰されました。



■なまずの里公園防災訓練に参加



なまずの里公園防災訓練が11月24日、公園愛護会・周辺自治会の皆さんによって開催され参加しました。中野一区・二区・三区、保五区、柴町二区・三区の6自治会の毎年恒例の訓練になります。



■13都道府県議会議長会議に出席

第241回13都道府県議会議長会議が11月11日、北海道函館市で開催され埼玉県議会を代表して出席しました。本会議は、大都市を有する13の都道府県議会の議長・副議長で構成され、それぞれの課題案件を1つずつ提案し、13件について審議の上、国への要望として図られる事が決定しました。



▲埼玉県三郷市出身の鈴木直道北海道知事と、夕張市長の塩から交流を重ねており、久々の再会でした。

■環境農林委員会視察に参加



県議会環境農林委員会は11月13日、IHミートバッカー(株)東京ミートセンターとASTRA FOOD PLAN(株)を視察しました。IHミートバッカー(株)東京ミートセンター(越谷市)は、食肉加工処理施設として牛・豚のカット・出荷を行っています。安心・安全な食品提供への取り組みについて視察しました。ASTRA FOOD PLAN(株)(富士見市)は、持続可能な社会への観点から、過熱水蒸気を用いた食品乾燥装置を開発・販売しています。リサイクルの先を行く「アップサイクル」として県も支援をしています。



■吉川市減災プロジェクトに参加



第9回吉川市減災プロジェクトが11月10日、北谷小学校で開催され参加しました。対象となる木売新田、富新田の2つの自治会をはじめ、近隣の自治会長や自主防災関係者もたくさん参加されていました。



▲ペットのための避難スペースも設けられていました。キャリーや保護ネット等は、ご自身の持ち込みとなるそうです。訓練のため、ケージ内にはぬいぐるみが入っていました。

松澤正県議会議員事務所

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202 TEL. 048-945-0992 / FAX. 048-918-3026



松澤正



令和7年(2025年) 春号

吉川・松伏のために!! 県東南部の連携強化

埼玉県議会議員

松澤 正

県政報告

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202
Tel. 048-945-0992 / Fax. 048-918-3026
E-mail info@matsuzawa-tadashi.com

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

役職 埼玉県議会副議長 / 所属委員会 環境農林委員会

副議長として務めを全う!

県議会副議長として1年間、務めを全力で全うすることができたのは、県民の皆さまをはじめ議員の皆様、大野知事や県執行部の皆様のご理解とご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

埼玉県議会副議長 松澤 正



県議会2月定例会報告 前年度比5.2%増の超大型予算で持続可能な発展を!!

令和7年度当初予算
過去最大規模

一般会計 **2兆2,308億9,000万円**

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算(2兆2,308億9,000万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、「未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦」「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現』『DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進』を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え(通信機能の強化や治水対策の推進等:約394億5,146万円)、警察活動の強化(警察官を175人増員等:約4億900万円)、介護・医療体制の充実(人材確保等:約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが盛り込まれました。

また、1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道事業会計補正予算【第1号】及び【第3号】合わせて90億円(内、国庫補助金が45億円)を議決しました。

令和7年度一般会計当初予算



令和7年度 吉川市・松伏町の主な県事業

令和7年度、吉川市・松伏町において予算を確保することができました主な県事業(インフラ整備等)をご報告します。これからも地域の発展と、住民の安心・安全の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

《県土整備部》

令和7年度当初予算

(吉川市)

路線名等	事業概要
1 越谷流山線(美南)	自転車歩行者道整備(L=760m、W=10.0(12.5)m)
2 加藤平沼線	道路改築(L=2,000m)
3 野田橋(越谷野田線)	道路改築(L=660m、W=13.0(25.0)m)
4 越谷野田線(田島)	道路改築(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
5 越谷野田線(田島)	道路改築事業(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
6 越谷流山線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,400m、W=13.0(27.0)m)
7 越谷吉川線	街路整備(L=617m、W=13.0(25.0)m)
8 三郷流山線	街路整備(L=1,022m、W=13.0(29.0)m)
9 三郷流山線	社会資本整備総合交付金(街路)事業(L=1,022m、W=13.0(29.0)m)
10 越谷流山線	舗装道整備(舗装修繕、W=7m、L=450m)
11 中井松伏線	舗装道整備(舗装修繕、W=12m、L=300m)
12 川藤野田線	舗装道整備(舗装修繕、W=12.4m、L=200m)
13 三郷幸手自転車道線	舗装道整備(舗装修繕、W=1m、L=1,600m)
14 中井松伏線	道路環境整備(防草対策工、L=540m)
15 大場川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工、用地買収)
16 大場川	河川改修(測量設計、護岸工、橋梁架換工)

(松伏町)

路線名等	事業概要
17 松伏春日部関宿線(金杉)	自転車歩行者道整備(L=980m、W=7.0(10.5)m)
18 越谷野田線(松伏西)	道路改築(L=1,100m、W=13.0(25.0)m)
19 越谷野田線(田島)	道路改築(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
20 野田橋(越谷野田線)	道路改築(L=660m、W=13.0(25.0)m)
21 越谷野田線(松伏西)	道路改築事業(L=1,100m、W=13.0(25.0)m)
22 越谷野田線(田島)	道路改築事業(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
23 春日部松伏線(大川戸)	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=500m)
24 春日部松伏線(松伏)	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=450m)
25 寿橋(越谷野田線)	橋りょう修繕(塗装塗替)
26 中川	河川改修(測量設計、用地買収、物件補償)

令和6年度2月補正予算(国の補正対応分)

(松伏町)

路線名等	事業概要
A 越谷野田線(松伏西)	道路改築事業(L=1,100m、W=13.0(25.0)m)
B 越谷野田線(田島)	道路改築事業(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
C 大落古利根川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(河道整備工)



2 下八間堀地区の湛水防除

下八間堀悪水路は、地域の主要な排水路であり、工業団地造成時に一部排水路の整備をしましたが、未整備箇所が多く湛水被害による法面崩壊箇所が見受けられます。地元の方々からの排水路の整備を求める声を受け、令和5年度から農地防災事業(湛水防除)として整備が行われています。(令和9年度完了予定)



農業基盤整備事業《農林部》

令和7年度当初予算

(松伏町)

事業名	箇所名	事業内容
1 農地防災事業(施設耐震)	古利根堰(松伏ほか)	堰耐震補強工1式

(吉川市)

事業名	箇所名	事業内容
2 農地防災事業(湛水防除)	下八間堀(川藤)	排水路工、L=390m

令和6年度2月補正予算

(松伏町)

事業名	箇所名	事業内容
1 農地防災事業(施設耐震)	古利根堰	堰耐震補強工1式

1・3 古利根堰の耐震対策

現在の古利根堰は昭和60年度に改修されましたが、現在の耐震基準に適合させるため、耐震対策を進めています。(令和8年度完了予定)



古利根堰は春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町の6市1町、1,761.4haの水田に農業用水を供給する取水堰です。葛西用水路土地改良区が管理しています。一級河川大落古利根川の越谷市大字大吉地先と松伏町大字松伏地先に位置します。



令和7年度の主な施策(抜粋)

～歴史的課題への挑戦～

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出3億9,537万2千円

【埼玉発】令和7年度、さいたま新都心に開設(予定)

施設:コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペース など

◎共創プログラムの実施(企業同士のマッチングによる協業の伴走支援、支援金の支給)、◎アクセラレーションプログラム(アリーパー)の実施(事業成長に向けた伴走支援、支援金の支給、デモデイ(成果報告会)の開催)、他



■サーキュラーエコノミー(CE)の推進7億2,378万8千円

◎リチウムイオン電池の広域回収・資源化モデルの構築、◎県民向けサーキュラーエコノミーの啓発、◎サーキュラーエコノミー型製品等の価値発信支援、◎広域連携による衣料品のサーキュラーエコノミーの推進、◎大企業ニーズ調査によるサーキュラーエコノミー推進センター埼玉のマッチング強化、他



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進15億8,470万円

プロジェクトに取り組む市町村 合計56団体!

◎市町村への専門家派遣等による地域まちづくり計画の策定支援、◎エネルギーレジリエンス強化促進支援事業、◎県有施設への太陽光発電設備等の導入促進、他



■人手不足への対応7億6,916万2千円

◎専門家派遣の実施、◎省力化投資に対する補助(導入:上限額200万円、補助率1/2/更新:上限額750万円、補助率1/2)、◎女性活躍のための環境整備、◎集合住宅宅配ボックス設置補助、他



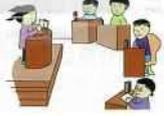
2. 「子どもまんなか社会」の実現

■子どもの声を聴く「埼玉県子ども会議」445万5千円

◎小学生～高校生が県政に対し意見を表明する「埼玉県子ども会議」を設置・運営、◎子どもたちの意見を施策づくりに生かすとともに、反映状況等を県ホームページで公表

■朝のこどもの居場所づくり557万4千円

◎「朝の小1の聲」を解消するため、「朝のこどもの居場所づくり」に取り組む市町村への支援



■保育士の確保・定着1億6,509万6千円

◎新卒保育士に対する就職準備金(新卒保育士就職準備金に30万円(県内保育所等で3年勤務することにより返還免除)の新たな貸付枠を創設するとともに、県外からの転居を伴う就職者に対しては10万円の加算枠を創設)、◎保育士の復帰・復職のサポート(未就職児を持つ保育士が育休等から復帰する又は新たに就職する場合に、当該保育士が支払う保育料の半額(上限27,000円)の貸付期間を無償化の対象となる3歳児まで延長)、他



■メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援4,272万6千円

◎新たな居場所・学びの場を設置(一人ひとりの状況に合わせた学びの提供(講義形式・個別学習支援)、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる専門的な相談、利用者同士の日常の交流やオンライン社会科見学等の体験活動)

■特別支援学校の整備14億4,969万9千円

◎関東部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和12年度開校予定)、◎県西南部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和11年度開校予定)、◎既存特別支援学校の校舎等改築(県立と光南特別支援学校の全面改築)(令和12年度校舎供用開始予定)

■県営公園の安全安心向上

.....1億9,850万円

◎防犯カメラの充実(5公園全30か所で詳細設計、6公園全40か所で設置工事を実施)



3. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■DXによる県民サービスの更なる向上1,500万円

◎AIしごと診断・マッチングシステムによる若者の就業支援



■県内中小企業のDX推進8,522万9千円

◎ノーコードツール活用によるDX促進(事業者におけるノーコードツール活用を促進するための実践型ワークショップを実施)

■DX・TXによる行政の更なる生産性向上1億2,727万6千円

◎TX2.0タスク・トランスフォーメーションの強化(TX1.0で導入した全庁共通ツールだけではカバーできない特定のタスクを効率化する新たなツールをモデル的に導入)、◎県立高校でのデジタル操縦の導入、他

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化7,964万3千円

◎通信途絶状況下での対応(令和6年能登半島地震での教訓を踏まえた図上訓練の実施)、◎支援物資の物流オペレーション、◎LINEを活用した多言語防災情報の提供、◎災害時のリハビリテーション機能の強化、◎新興感染症の訓練想定を拡充、他

■孤立集落となる可能性がある地域への対応3億6,400万円

◎迂回路の無い県道の法面対策強化(アークスルット強靱化推進費)

■自然災害への備え3,945万5,146万4千円

◎衛星通信機器の導入(27基導入)、◎流域治水対策の推進(中川・横瀬川緊急流域治水プロジェクト、既存施設の有効活用法の検討等)、◎緊急性の高い防災・減災対策の強化、◎総合指揮支援システムの機能強化、◎通信・映像資機材の整備、他

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

1. 県民の暮らしの安心確保

■警察活動の強化4億899万6千円

◎警察官の増員(全国最多 175人増員)、◎データベース上における情報収集力の強化、他



■消費者被害対策の推進3,174万5千円

◎消費生活センターへのAI電話の導入など消費者相談のDX化、◎市町村相談体制支援員の設置、県内消費生活相談体制の維持、他

■民生委員の担い手確保対策支援3,741万円

◎民生委員をサポートする協働員制度の導入、◎オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員活動の効率化、他

2. 介護・医療体制の充実

■人材の確保7億8,730万1千円

◆医師の働き方改革の推進と偏在是正

◎長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施、◎地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助(密着調査支援事業を拡充)、他

◆介護人材の確保・定着の促進

◎採用未経験者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介、◎事業所が登録支援機関等に支払う初期費用の補助、◎埼玉県独自の新規ルート開拓、他

■救急医療体制の強化1億7,567万8千円

◎75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、◎夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受け入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

3. 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

■観光プロモーション・インバウンド誘致の推進2億781万9千円

◎酒やアウトドアスポーツなど、本県の強みとなるコンテンツの発信による観光周遊促進、◎特定層にターゲットを絞ったプロモーション、他

■未来の県庁・新しい働き方の実現1億2,134万1千円

◎「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域振興交流拠点の基本計画の策定、◎DX等の社会変革を踏まえた未来の県庁舎の再整備に向けた基本構想・基本計画の策定(令和～8年度)、他

4. 豊かな自然と共生する社会の実現

■第75回全国植樹祭の開催10億1,615万3千円

◎当日の式典運営・式典会場の環境復旧等、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の発信、他



5. 儲かる農林業の推進

■地域農業の担い手確保3,572万1千円

◎新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、規模拡大や県内への参入を支援、他

■水稻のカメムシ類・高温被害への対策3,086万4千円

◎イネカメムシ対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除受託体制を充足等)、◎高温耐性新品種 えみほころの速やかな導入(栽培マニュアルの策定・現地実証、種子生産体制の整備等)、他



県議会副議長として全力で働いてまいりました!

環境農林常任委員会 視察

環境農林委員会は1月22日・23日の両日、大阪府内の先進的な取り組みについて視察しました。



堂島コメ平均の高品質をほじめ、活用方法や現在の市況など詳しくご説明いただきました。

堂島取引所を訪問

堂島取引所は、江戸時代の大坂堂島にあった堂島米会所の流れをくむ商品先物の取引所です。2024年6月にコメ先物に代わる主力商品として、日本初となる米穀指数の先物市場の開設が国に認可され、8月日から「堂島コメ平均」の指数先物取引を開始しています。昨年の埼玉県東部で発生したカメムシ被害なども、その動向に目が離せないとの説明がありました。



イチゴ農園 視察

春日部市のイチゴ農園を3月7日、栄寛美県議(春日部市選出)の案内で訪問しました。今話題の「あまりん」や「べにたま」を始め12品種を育成されており、さらには独自で新たな品種も開発され、試食もさせていただきました。



コスモ石油(株)堺製油所を訪問

堺市にあるコスモ石油株式会社堺製油所は、廃食用油等からSAF(持続可能な航空燃料)を生産するサプライチェーンの実証に取り組んでいます。航空業界ではCO₂排出削減が喫緊の課題となっており、SAFの普及は2050年カーボンニュートラルに欠かせない手段として位置づけられています。国際基準に準拠したSAFを、今年4月からエアラインへ供給する予定とのことでした。



製造プラントは2024年12月25日に完工し、2025年1月から試運転を開始。年間3万キロリットルの国産SAFを生産予定で、日本初のSAF大規模生産となります。

県子ども動物自然公園 視察

3月19日、埼玉県子ども動物自然公園を訪問しました。クオッカをオーストラリアから譲り受け5年目を迎える中で、クラウドファンディングで屋内展示室が完成しました。



私の地元企業からも応援いただき、その報告もかねて視察しました。

吉川中央土地区画整理組合竣工式に出席

吉川中央土地区画整理組合施工による事業が完了し、2月1日に竣工式が行われました。

平成8年から事業開始し、28年の経過となりましたが、理事の皆さんや組合員の皆さんの協力のもと、落ち着いた住心地よい住宅地が形成されました。



ご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。

越谷吉川線中井工区完成式典に出席

都市計画道路越谷吉川線(中井工区)が完成し、2月8日に開通式並びに地権者の方々や近隣自治会、建設に係わられた方々への感謝状贈呈式が行われ出席しました。これで市内の都市計画道路は一区切りとなりますが、今後は交通量の増加も予想され、交通安全にも注力してまいります。



県議会賀詞交歓会開催

1月8日、県議会と大野元裕知事はじめ県執行部との賀詞交歓会が、議長主催で行われました。(一年ごとに執行部と議会が主催となります)



私は議会の挨拶と締めを行わせていただきました。

県内各団体の賀詞交歓会に出席



司法書士新年賀詞交歓会にて(1月8日)



松伏町商工会・(公社)越谷法人会松伏支部・松伏町青年会会長の松伏町経済3団体の新年賀詞交歓会にて(1月10日)



吉川市商工会・越谷法人会吉川支部・青色申告会・小松川工学会の吉川市経済4団体の賀詞交歓会にて(1月16日)



埼玉県電気工事工業組合新年懇談会にて(1月28日)



埼玉県防衛協会賀詞交歓会にて(2月5日)

吉川消防出初式に出席

吉川消防出初式が1月12日、吉川美南駅前公園にて行われ出席しました。消防団員による「一斉放水」、吉川松伏少年消防クラブによる「訓練展示」、消防団・消防署の車両が一堂に会す「車両部隊操練」など、日ごろの活動の成果が披露されました。



吉川市英霊塔参拝に参加

吉川市英霊塔参拝が1月15日に行われ、遺族会の方々とともに参加しました。毎年、1月15日と8月15日に行われていますが、英霊に年頭の思いをお伝えしながら参拝しました。



埼玉県里親会 創立70周年記念式典に出席

一般社団法人埼玉県里親会 創立70周年記念式典が2月2日に開催され、県議会を代表して出席しました。現在、300人の里親さんがおられるとの事で、少しでも多くの児童・生徒を受け入れる体制ができているそうです。こどもに家庭の味を。そんな思いで議会でも応援してまいります。



議会を代表して私も挨拶申し上げます。

デンタルミーティングin埼玉に出席



2月27日、ロイヤルバインズホテル浦和において「デンタルミーティングin埼玉 2025」が開催され出席しました。日本歯科医師連盟の太田謙司会長による活動のご報告、メインゲストである比嘉なつみ参議院議員による、歯科会の問題解決に向けての成果と事業研究調査についてのご報告のあと、各地域毎のテーブルで歯科医の皆さまと意見交換を行いました。

彩の国21世紀郷土かるた県大会に出席

「第43回彩の国21世紀郷土かるた県大会」が3月9日、越谷市立体育館にて開催され、議会を代表して開会式に出席しました。「優勝を目指して頑張ってください。そして楽しみながら友達との輪を広げていってください」と祝辞を申し上げます。



松澤正県議会議員事務所

〒342-0042 吉川市中野29 サンパレス5-202 TEL. 048-945-0992 / FAX. 048-918-3026



松澤正



入間市内の主な県事業

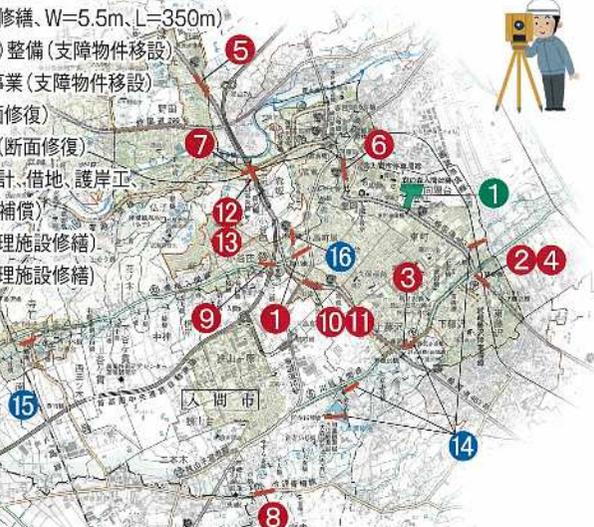
令和6年度当初予算における、地元・入間市において予算を確保することができました主な県事業（インフラ事業）をご報告します。

県土整備部

路線名等	事業概要
① 青梅入間線(扇町屋)	交通安全施設整備事業(L=386m, W=6.5(11.5)m)
② 建武橋(国道463号)	橋りょう架換(L=200m, W=6.0(10.5)m)
③ 藤沢橋(川越入間線)	橋りょう架換(L=9.3m, W=7.0(13.5)m)
④ 建武橋(国道463号)	橋りょう整備事業(L=200m, W=6.0(10.5)m)
⑤ 国道299号(新光)	舗装道整備(舗装修繕, W=6.8m, L=300m)
⑥ 国道463号(豊岡)	舗装道整備(舗装修繕, W=8m, L=450m)
⑦ 富岡入間橋(牛沢町)	舗装道整備(舗装修繕, W=6.1m, L=200m)
⑧ 所沢青梅線(宮寺)	舗装道整備(舗装修繕, W=6.1m, L=300m)
⑨ 青梅入間線(小谷田)	舗装道整備(舗装修繕, W=5.5m, L=350m)
⑩ 国道463号(小谷田)	電線地中化(道路)整備(支障物件移設)
⑪ 国道463号(上藤沢)	道路構造物維持事業(支障物件移設)
⑫ 入間川高架橋(国道299号)	橋りょう修繕(断面修復)
⑬ 入間川高架橋(国道299号)	橋りょう補修事業(断面修復)
⑭ 不老川	河川改修(測量設計、借地、護岸工、橋梁架換工、物件補償)
⑮ 霞川	河川改修(河川管理施設修繕)
⑯ 霞川	河川改修(河川管理施設修繕)

都市整備部

路線名等	事業概要
① 彩の森 入間公園	社会資本整備総合 交付金(公園)事業 (園路改修、木製ベンチ更新等)



下水道局

路線名等	事業概要
① 新河岸川 水循環センター外	下水道事業計画 変更業務委託

松本よしあき 政務活動 豊岡事務所

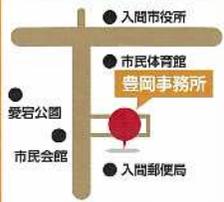
〒358-0023 入間市扇台2-1-21
 TEL・FAX 04-2001-9278
 E-mail matsumoto.office2023@gmail.com



松本よしあきプロフィール

【生年月日】1987年7月15日生まれ
 【学歴】白梅幼稚園・入間市立狭山小学校・入間市立武蔵中学校・埼玉立川越高等学校・早稲田大学・早稲田大学大学院
 【職歴】早稲田大学人間科学部非常勤講師、埼玉県立高校非常勤講師、高齢者福祉施設介護職員、入間市議会議員(3期)・入間市議会副議長、茶の花福祉会評議員、創和評議員、早稲田大学人間科学研究科招聘研究員
 【地域活動】入間市消防団 元部長、入間市商工会 青年部 入間青年会議所 第47代理事長

「声をかたちに！」



松本よしあき

発行:埼玉県議会自由民主党議員団
 埼玉県議会議員
 松本よしあき

課題に真摯に挑戦する
 未来を切り拓く施策として

令和6年度
 一般会計予算 約2兆1,197億4千万円の計上を議決



県議会では、令和6年度一般会計当初予算2兆1,197億4,400万円等を議決しました。

埼玉県は今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という2つの大きな課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっている中、県民全ての人々が活躍でき、安心して暮らせる社会の実現が、一層強く求められています。

令和6年度当初予算は、これらの課題に真摯に挑戦する、未来を切り拓く内容となっています。「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、これからも全力で働いてまいります。

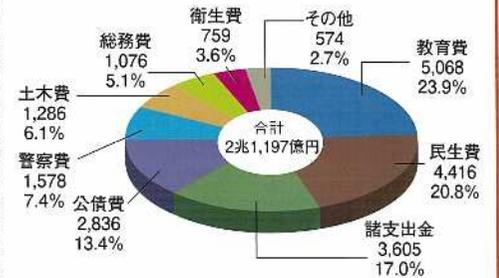
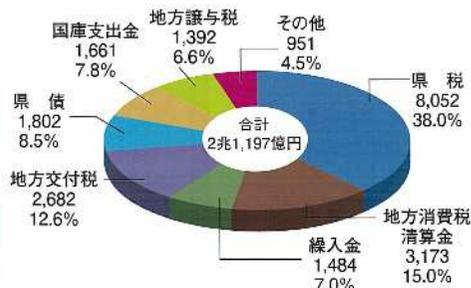
歳入

(単位:億円)

令和6年度一般会計当初予算

歳出

(単位:億円)



- 県税収入は、個人県民税や法人二税など8,052億円を計上
- 県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,802億円を計上
- 国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,661億円を計上
- 教育費は、教職員給与や県立学校大病棟改修費など5,068億円を計上
- 民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,416億円を計上
- 諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、一般会計への支出金など3,605億円を計上

令和6年度の主な施策(概要)

令和6年度予算の詳細は、埼玉県ホームページをご参照ください。↓



～歴史的課題への挑戦 1 人口減少・超少子高齢社会への対応～

1. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

- 9億1,168万円
- デジタルトランスフォーメーションの推進・DX推進事業.....7億954万円
 - ①全庁GIS基盤搭載業務の拡大、②メタバース空間の整備、③セキュアな生成AI基盤の構築、④ノーコードツールの全庁導入、他
- ⑤公金収納DXの推進・県有施設等への更なるキャッシュレス化推進事業.....1,851万円
 - ⑥県有施設等へのキャッシュレス環境の整備、他
- ⑦学校教育のデジタル化の推進・電子出願システム導入事業.....1億1,740万円
 - ⑧入学選考における電子出願の実施、⑨入学選考手数料の電子収納の実施
- ⑩中小企業のDX推進・県内企業デジタルトランスフォーメーション推進.....6,623万円
 - ⑪DXを目指す企業へのオーダーメイド型支援、他

2. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

- 26億4,889万円
- ⑫埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進事業.....3億4,945万円
 - ⑬市町村と企業等のマッチングを行うガバメントピッチの充実(開催回数を2回(最大4日間)に拡充)、⑭市町村と企業等の交流会の充実(開催回数を3回(計3日間)に拡充)、他
- ⑮埼玉版スーパー・シティプロジェクトを加速させる新たな市町村支援・地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業.....4,000万円
 - ⑯「地域まちづくり計画」に基づく市町村の公共交通分野の取り組みに対する上乗せ補助を行う。
 - ⑰介護基盤整備促進事業.....3,200万円
 - ⑱既存の国庫補助事業の補助基準額に加えて、独自に上乗せ補助を実施する市町村に対し新たに補助を行う。
 - ⑲新たな子供支援活動拠点の整備促進事業.....1,200万円
 - ⑳子どもの居場所を中心として、多様な主体の交流機能と助け合い機能を付加した子供支援活動拠点を整備する市町村に対し新たに補助を行う。
 - ㉑地域商業活性化支援事業.....1,550万円
 - ㉒商店街の空き店舗活用を支援する市町村に対し新たに補助を行う。
 - ㉓既存住宅流通促進事業.....4,000万円
 - ㉔市町村の空き家バンクの空き家購入者への改修費補助に対する新たな補助。市町村の空き家バンクの空き家を活用した、地域の活性化に資する取り組みに対する新たな補助。
 - ⑳埼玉版スーパー・シティプロジェクト市町村事業と連動して実施する県事業
 - ㉕スーパー・シティまちづくり支援県道整備事業.....5億5,200万円
 - ㉖県道整備(電線の地中化、スマート交通システム基盤整備、道路ネットワークの構築)
 - ㉗スーパー・シティまちづくり支援事業(水辺deベンチャーチャレンジ).....7,000万円
 - ㉘水辺deベンチャーチャレンジ(河川管理施設や河川敷地など水辺環境を整備)
 - ㉙スーパー・シティまちづくり支援事業(浮きウキカーボンニュートラル).....5,000万円
 - ㉚浮きウキカーボンニュートラル(県管理調節池を活用した太陽光発電設備を設置する市町村を支援するための基盤整備)
 - ㉛地域脱炭素化×エネルギーレジリエンス強化事業.....2,300万円
 - ㉜県有施設における再エネ活用設備の導入に係る設計

- ㉝「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」イノベーション創出支援事業.....1億9,436万円
 - ㉞サロンの開設準備、㉟スタートアップ起業志望者に対する支援、㊱イノベーション人材の育成、他
- ㊲「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備
 - ㊳整備事業(3か年継続事業第1年次).....7億2,813万円
 - ㊴農大跡地活用等推進事業.....1億1,408万円
 - ㊵センターの建設、㊶アグリテック・フードテックの促進、他
- ㊷サーキュラーエコノミーの推進.....3億5,567万円
 - ㊸埋跡地を活用した資源循環モデル整備事業.....5,445万円
 - ㊹廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援、㊺埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用したサーキュラーエコノミーの推進、㊻サーキュラーエコノミー推進センター埼玉による支援、㊼サーキュラーデザイン・リーディングモデル構築支援、㊽食のサーキュラーエコノミーリーディングモデル構築支援、㊾サーキュラーエコノミービジネスプランコンテストの開催、㊿資源循環農場・公園の整備、他

3. あんしんしあわせ たのしい こども支援の充実

- 45億7,931万円
- ㊿子供等の意見を反映した「こどもまんなか社会」推進事業.....1,353万円
 - ①こども県政サポーター(仮称)の募集、及び同システムの構築、他
- ②プロスポーツチーム等と連携した「出会いのきっかけづくり」
 - ③家族形成に向けた気運の醸成.....1,438万円
 - ④プロスポーツチーム等と連携した婚活イベントの開催、⑤様々な情報発信、他
- ⑥子育て世帯の医療費負担の軽減・こども医療助成.....37億6,910万円
 - ⑦補助対象の拡大(対象年齢を「通院」は就学前児童から小学校3年生まで、「入院」は就学前児童から中学校3年生までに拡大するとともに所得制限を撤廃)
- ⑧困難を抱える妊産婦が安心して出産・子育てできるための支援
 - ⑨妊婦緊急一時受入れ事業.....704万円
 - ⑩安心して生活できる場のない妊婦に緊急一時的な居場所を提供
 - ⑪妊産婦等生活援助事業.....2,613万円
 - ⑫困難を抱える妊産婦等に生活支援、⑬養育が困難な妊産婦等に相談支援
- ⑭保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進
 - ⑮潜在保育士活躍応援事業.....3,224万円

- ⑯潜在保育士に対する情報発信とポータルサイトの構築、他
- ⑰保育士研修等事業(うち、保育補助者雇上強化事業).....2億9,500万円

男性の家事・育児参加の促進

- ⑱男性の育休取得推進事業.....567万円
- ⑲企業と連携した男性の家事・育児参加推進事業.....1,290万円
 - ⑳男性の育児休業取得の推進、㉑ハンドブック(仮称)の作成及びセミナーの実施
- ㉒こどもの居場所づくりの支援
 - ㉓こどもの居場所等地域ネットワーク支援事業.....2,811万円
 - ㉔地域におけるこどもの居場所支援団体育成事業.....900万円
 - ㉕新たな子供支援活動拠点の整備、㉖こどもの居場所等地域ネットワークの立上げ支援、㉗こどもの居場所支援団体の育成



- ㉘バーチャルユースセンター(仮称)の設置事業.....1,886万円
 - ㉙バーチャルユースセンター(仮称)の設置・試験運用
- ㉚放課後児童クラブの充実・放課後児童クラブ待機児童解消支援事業.....1,257万円
 - ㉛待機児童解消のための緊急対策、㉜待機児童対策検討のための調査・研究

児童虐待防止対策の強化

- ㉝子供の見守り支援事業.....3,018万円
 - ㉞課題を抱える子供や家庭に対する支援を実施する市町村に補助
- ㉟一時保護所環境改善・機能強化推進事業.....1億453万円

社会的養育の充実

- ㊱子供の意見表明等推進事業.....718万円
- ㊲児童養護施設等体制強化事業.....7,500万円
- ㊳里親委託推進事業.....6,751万円
- ㊴児童養護施設等職員の家賃負担軽減事業.....3,836万円
 - ㊵権利擁護のための支援体制の整備、㊶児童養護施設等の人材確保、㊷乳児院における医療機関連携強化、㊸里親支援センターの設置、他

～歴史的課題への挑戦 2 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え～

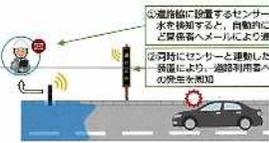
災害対応力の底上げと自然災害・新たな感染症への備え

- 131億8,982万円
- ㊸災害対応力強化推進(埼玉版FEMA).....1,758万円
 - ㊹新たなシナリオの作成及び図上訓練、㊺指揮命令権者訓練、他
- ㊻ドローンを活用した発災初期の情報収集力強化
 - ㊼DXを活用した災害対応力の強化事業.....735万円
 - ㊽ドローンを活用した災害現場の上空緊急観測の実証実験
- ㊾ジェンダーの視点による避難所開設・運営の充実強化事業.....919万円
 - ㊿ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化、他
- ㊿埼玉版流域治水対策の推進.....123億2,399万円

- ①洪水予報河川の拡大と水位予測モデルの構築、②新たな河川管理施設整備に向けた調査・検討、③道路整備における雨水貯留施設設置等、他

安全・安心を確保するための道路の維持管理・道路情報強化事業

- ④道路冠水常態箇所への対策の実施.....7,200万円
- ⑤新たな感染症への備え・新興感染症対策事業費.....7億5,972万円
 - ⑥協定締結医療機関の施設・設備整備支援、⑦新興感染症発生初期の検査実施体制の整備、⑧地域の関係者の連携強化、他





埼玉県議会議員 ～声をかたちに～

松本よしあき

通信

令和6年

師走号

2024年

責任世代本気の挑戦に期待してください!

日頃よりご指導いただきありがとうございます。県議会議員になりまもなく2年になります。多くの皆様にご指導いただきながら活動させていただいております。心から感謝しております。この間様々な経験をさせていただき、県議会議員としても具体的な提案を積み重ねてきました。特に災害対応においては、地元の皆様と連携しながら一刻も早い復旧復興に向けて飯能県土事務所と対応を協議しております。

今回の活動報告紙は2度目の一般質問を中心に記事を書かせていただきました。市議会議員の時から質問・提案してきた多摩都市モノレールの延伸について県議会で質問した内容を掲載しました。今後とも初心を忘れることなく活動して参ります。ご指導よろしく申し上げます。松本よしあき



松本よしあき

埼玉県議会において

埼玉県議会HP



一般質問
Vol. 3

一般質問を行いました

松本よしあき県議会議員の
一般質問の詳細はこちら

「あと数マイル・プロジェクト」における多摩都市モノレールの延伸について —これまでの取組—

Q 松本義明
議員

大野知事は、あと数マイル・プロジェクトにおける多摩都市モノレールの延伸について、初当選時から公約としております。

多摩都市モノレールは現在、東京都多摩市の多摩センター駅から本県に隣接する東大和市の上北台駅までを結んでおります。さらに、東京都では2030年代までに現在の終着駅である上北台駅から私の地元入間市の隣町、瑞穂町にありますJR八高線の箱根ヶ崎駅までの整備を進めるとしております。正に県内まであと数マイル、いや、あと数メートルというような状況にあります。

多摩都市モノレールが延伸されれば、埼玉県の西部地区から東京都多摩地区へのアクセスが向上し、都心へのアクセスへの選択肢が増えることから利便性向上するとともに、地域の魅力や路線価値も向上することが期待されます。そこで、まず東京都が進めている上北台駅から箱根ヶ崎駅までの延伸の現状を踏まえ、埼玉県として進めていくあと数マイル・プロジェクトにおける多摩都市モノレールの県内への延伸について、これまでの取組について知事にお伺いいたします。

A 大野元裕
知事

箱根ヶ崎への延伸につきましては、東京都より、令和5年12月に都市計画案等に関する住民説明会が開催をされ、現在は、都市計画決定に向けた手続が進められていると承知しております。

東京都は、今後3年程度で、都市計画事業を認可し、2030年代半ばの開業を目指していると伺っております。

県内への延伸については、国の交通政策審議会の答申に位置付けがなく、令和2年度に県が開催をした「公共交通の利便性向上検討会議」においては、延伸ルートが絞り込みや地元自治体の気運醸成などが課題として挙げられております。

このため、県では、これまで、現地の状況から考えられる複数のルートについて、駅の位置や、あるいは移設が難しい建物の回避方法、延伸効果などに関する調査を実施しております。

また、毎年度、調査結果を地元の自治体に情報提供するとともに、県主催により交通政策の専門家を講師とし、延伸事例などを学ぶ研修会を開催しているところでございます。

●県内公共交通網検討調査について

検討路線	年度	調査概要
多摩都市モノレール	令和3年度	○ 延伸ルートの調査 埼玉県内への延伸について複数のルートを調査し、各ルートにおける延伸距離や延伸の支障となる物件等の特性を整理した。
	令和4年度	○ 複数ルートの導入空間確保に関する調査 複数のルートについて、軌道及び駅施設を導入するための空間確保の可否について調査し、留意すべき点はあるものの、技術的には可能であることを確認した。
	令和5年度	○ 複数ルートの延伸効果に関する調査 複数のルートについて延伸効果を調査し、鉄道空白地域の解消、乗換回数の減少など、各ルートの延伸効果を整理した。



公共交通の利便性向上検討会議 第2回資料から抜粋 (国土地理院地図に追加)

松本よしあき 埼玉県議会議員 活動報告



① 現役入間市消防団員として安全安心のまちづくりに取り組んでおります。また、県議会議員として災害に強いまちづくりを進めております。



② 入間市内の各種イベントに参加して、皆様のご意見をお伺いしております。「声をかたちに！」するために、まずは皆様の声を地域に直接届けてお話しを聞いております。



③ 県議会の様々な議員連盟に所属し勉強させていただきながら活動しております。県とのパイプを強化しながら地元発展に繋げられるように今後とも頑張っております。



④ 狭山茶の主産地であります入間市を代表して狭山茶振興協議会で活動しております。狭山茶振興に今後とも全力で取り組んでまいります。



⑤ 議会の大切な役割であります条例づくりにも取り組んでおります。条例制定後の取り組みとして、エスカレーターの安全利用に向けて普及啓発活動を行いました。



⑥ 地元の若手経営者の皆様と意見交換を重ねております。現地視察をしたり同世代の皆様と切磋琢磨しながら勉強を重ねております。

入間市への予算(土木関係) 約1,708,650,000円獲得!!



建武橋を上空より望む

番号	事業名	箇所名
①	交通安全施設整備事業費	青梅入間線(扇町屋)
②	橋りょう架換費	国道463号(建武橋)
③	橋りょう架換費	川越入間線(藤沢橋)
④	橋りょう整備事業費	国道463号(建武橋)
⑤	舗装道整備費	国道299号(新光)
⑥	舗装道整備費	国道463号(豊岡)
⑦	舗装道整備費	富岡入間線(牛沢町)
⑧	舗装道整備費	所沢青梅線(宮寺)
⑨	舗装道整備費	青梅入間線(小谷田)
⑩	電線地中化(道路)整備費	国道463号(小谷田)

番号	事業名	箇所名
⑪	道路構造物維持事業費	国道463号(上藤沢)
⑫	橋りょう修繕費	国道299号(入間川高架橋)
⑬	橋りょう補修事業費	国道299号(入間川高架橋)
⑭	河川改修費	不老川(上藤沢・宮寺)
⑮	河川改修費(水辺)	霞川(南峯)
⑯	河川改修費(水辺)	霞川(扇町屋)

補正予算

記号	事業名	箇所名
A	交通安全施設整備事業費	青梅入間線(扇町屋)
B	橋りょう整備事業費	国道463号(建武橋)

政務活動事務所にお立ち寄りください

〒358-0023 埼玉県入間市扇台2-1-21
 電話・FAX 04-2001-9278
 開設時間：月曜日～金曜日 10:00～16:00



ポスター掲示のお願い



埼玉県議会議員松本よしあき事務所ではポスターを掲示していただける方を募集しております。
 (ご自宅、駐車場、職場などポスターを掲示いただける方、またはご協力いただける方を紹介いただける方がいらっしゃいましたら政務活動事務所にご連絡ください。)

松本よしあきプロフィール

- 生年月日 1987年生まれ (37歳)
 職歴
- 早稲田大学人間科学部非常勤講師
 - 埼玉県立高校非常勤講師
 - 高齢者福祉施設介護職員 (小規模多機能居宅介護・サービス付き高齢者向け住宅・グループホーム)
 - 入間市議会議員 (3期 10年)
 - 現在：埼玉県議会議員
 - (有)松本居宅介護サービス 代表取締役社長 (居宅介護支援事業所、訪問介護)
 - (社福) 茶の花福祉社会 評議員
 - (社福) 創和 評議員
 - 早稲田大学人間科学研究科 招聘研究員
- 【地域活動】
- 入間市消防団 元部長 (第6分団第2部)
 - (一社) 入間青年会議所 第47代理事長
 - 入間市商工会 青年部

松本よしあき
公式サイト
QRコード



YouTube
チャンネル
QRコード



松本よしあきの
アクティブな発信力!!



松本よしあき

発行：埼玉県議会自由民主党議員団
埼玉県議会議員
松本よしあき

県議会 2月
定例会報告

前年度比5.2%増の超大型 予算で持続可能な発展を!!

令和7年度当初予算
過去最大規模

一般会計 2兆2,308億9,000万円

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算（2兆2,308億9,000万円）をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

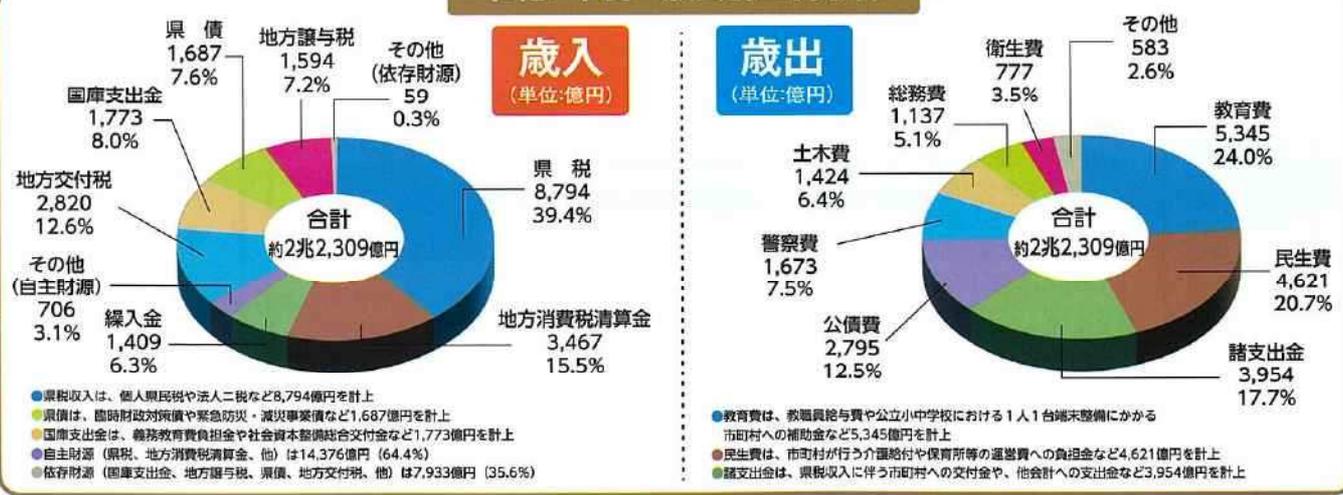
本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、『未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦』『「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現』『DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進』を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え（通信機能の強化や治水対策の推進等：約335億3,945万円）、警察活動の強化（警察官を175人増員等：約4億900万円）、医療体制の充実（人材確保等：約6億7,994万円）、保育士の確保・定着（約1億6,510万円）などが盛り込まれました。また、1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道補正予算【第1号】40億円の計上も議決しました。

さらに、今回は予算特別委員会の委員を務め、令和7年度当初予算の総合的審査および関連する事項について審議をしました。



令和7年度一般会計当初予算



～歴史的課題への挑戦～

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現
 ■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……………3億9,537万2千円
 埼玉県(令和7年度、さいたま新都心)開設(予定)
 施設: コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペースなど
 ① 本都心プロダクトの実施(企業同士のマッチングによる協業の促進、支援金の支給)、② アクセラレーションプログラム(アーリー・一期)の実施(事業成長に向けた半走支援、支援金の支給、セミナー(就業報告会)の開催)、他

2. 新たなDXの推進による県民サービスの向上
 ■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円
 ① AIのごと診断・マッチングシステムによる若者の職業支援



3. 更なるDXの推進による県民サービスの向上
 ■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円
 ① AIのごと診断・マッチングシステムによる若者の職業支援

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現
 ■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……………3億9,537万2千円
 埼玉県(令和7年度、さいたま新都心)開設(予定)
 施設: コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペースなど
 ① 本都心プロダクトの実施(企業同士のマッチングによる協業の促進、支援金の支給)、② アクセラレーションプログラム(アーリー・一期)の実施(事業成長に向けた半走支援、支援金の支給、セミナー(就業報告会)の開催)、他

2. 新たなDXの推進による県民サービスの向上
 ■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円
 ① AIのごと診断・マッチングシステムによる若者の職業支援

3. 更なるDXの推進による県民サービスの向上
 ■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円
 ① AIのごと診断・マッチングシステムによる若者の職業支援

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え
 ■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化……………7,964万3千円
 ① 通信回線状況下での対応(令和6年度能登半島地震での被害を踏まえた回線訓練の実施)、② 支援物資の物流オペレーション、③ LINEを活用した多言語防災情報の提供、④ 災害時のリハビリテーション機能の強化、⑤ 新興感染症の制御器定の拡充、他

5. 備かる農林業の推進
 ■地域農業の担い手確保……………3,572万1千円
 ① 新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、新規拡大や県内への参入を支援、他

6. 水稲のカメムシ類、高温被害への対策
 ■「ネカメムシ」対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除委託団体を充実等)……………3,086万4千円
 ① 防除委託団体の充実等、② 高温耐性新品種 えみほごらの選育や交配導入(栽培マニュアルの策定、現地実証、種子生産体制の整備等)、他

7. 救急医療体制の強化
 ■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円
 ① 75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、② 夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受け入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

8. 救急医療体制の強化
 ■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円
 ① 75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、② 夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受け入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現
 ■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……………3億9,537万2千円
 埼玉県(令和7年度、さいたま新都心)開設(予定)
 施設: コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペースなど
 ① 本都心プロダクトの実施(企業同士のマッチングによる協業の促進、支援金の支給)、② アクセラレーションプログラム(アーリー・一期)の実施(事業成長に向けた半走支援、支援金の支給、セミナー(就業報告会)の開催)、他

2. 新たなDXの推進による県民サービスの向上
 ■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円
 ① AIのごと診断・マッチングシステムによる若者の職業支援

3. 更なるDXの推進による県民サービスの向上
 ■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円
 ① AIのごと診断・マッチングシステムによる若者の職業支援

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え
 ■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化……………7,964万3千円
 ① 通信回線状況下での対応(令和6年度能登半島地震での被害を踏まえた回線訓練の実施)、② 支援物資の物流オペレーション、③ LINEを活用した多言語防災情報の提供、④ 災害時のリハビリテーション機能の強化、⑤ 新興感染症の制御器定の拡充、他

5. 備かる農林業の推進
 ■地域農業の担い手確保……………3,572万1千円
 ① 新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、新規拡大や県内への参入を支援、他

6. 水稲のカメムシ類、高温被害への対策
 ■「ネカメムシ」対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除委託団体を充実等)……………3,086万4千円
 ① 防除委託団体の充実等、② 高温耐性新品種 えみほごらの選育や交配導入(栽培マニュアルの策定、現地実証、種子生産体制の整備等)、他

7. 救急医療体制の強化
 ■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円
 ① 75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、② 夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受け入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

8. 救急医療体制の強化
 ■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円
 ① 75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、② 夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受け入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

令和7年度の主な施策(抜粋)

令和7年度予算の詳細は、埼玉県のホームページをご参照ください。↓



入間市内の主な県事業 インフラ整備等

令和7年度予算における、地元・入間市において予算を確保することができました主な県事業（インフラ整備等）をご報告します。地元と県政をつなぐ架け橋として、全力で日々働いてまいります。

県土整備部

令和7年度当初予算

路線名等	事業概要
① 青梅入間線(扇町屋)	交通安全施設整備事業 (L=386m、W=6.5(11.5)m)
② 建武橋(国道463号)	橋りょう架換 (L=200m、W=6.0(10.5)m)
③ 建武橋(国道463号)	橋りょう整備事業 (L=200m、W=6.0(10.5)m)
④ 国道299号(新光その1)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.8m、L=450m)
⑤ 国道299号(小谷田)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.42m、L=190m)
⑥ 所沢青梅線	舗装道整備(舗装修繕、W=6.6m、L=320m)
⑦ 国道299号(新光その2)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.84m、L=320m)
⑧ 国道299号(新光その3)	舗装道整備(舗装修繕、W=2m、L=250m)
⑨ 入間川高架橋(国道299号)	橋りょう修繕(塗装塗替)
⑩ 八瀬橋(二本木飯能線)	橋りょう修繕(橋面補修)
⑪ 不老川	河川改修(測量設計、護岸工、物件補償)
⑫ 霞川	河川改修(測量設計)
⑬ 霞川	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)
⑭ 霞川	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)
⑮ 霞川	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)
⑯ 不老川	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)
⑰ 霞川	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)

都市整備部

令和7年度当初予算

路線名等	事業概要
① 彩の森 入間公園	公園等施設管理 (公園等施設補修費) (樹木管理)



令和6年度2月補正予算案(国の補正対応分)

路線名等	事業概要
補1 建武橋(国道463号)	橋りょう整備事業 (L=200m、W=6.0(10.5)m)
補2 霞川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(護岸工、測量設計)



県議会賀詞交換会にて。大野元裕知事を中心とする自由民主党議員団一期生の仲間と一緒に(1月7日)。

デンタルミーティングin埼玉2025が2月27日、ロイヤルバインスホテル浦和において開催され出席しました。

県政報告会を2月24日に行いました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。私からは県議会議員としての活動実績や、今後の政策方針についてご説明いたしました。

松本よしあき 政務活動 豊岡事務所

〒358-0023 入間市扇台2-1-21
TEL・FAX 04-2001-9278
E-mail matsumoto.office2023@gmail.com



「声をかたちに！」

松本よしあき
公式サイト

YouTube
チャンネル



松本よしあきプロフィール

【生年月日】
1987年7月15日生まれ

【学歴】
白梅幼稚園・入間市立狭山小学校
入間市立武蔵中学校・埼玉県立川越高等学校
早稲田大学・早稲田大学大学院

【職歴】
早稲田大学人間科学部非常勤講師
埼玉県立高校非常勤講師
高齢者福祉施設介護職員
入間市議会議員(3期)・入間市議会 副議長
茶の花福祉会 評議員・創和 評議員
早稲田大学人間科学研究科 招聘研究員

【地域活動】
入間市消防団 元部長・入間市商工会 青年部
入間青年会議所 第47代理事長

責任世代 本気の挑戦に

期待してください!!

日頃よりご指導いただきありがとうございます。埼玉県議会議員として様々な経験をさせていただき日々勉強させていただいております。県政の発展、そして入間市のために具体的な政策提案を積み重ねてきました。

災害対応においても地元の皆様と連携しながら一刻も早い復旧復興を実現してきました。今後とも初心を忘れることなく活動して参ります。

松本よしあき



松本よしあきは
市議会議員10年の経験を活かして
埼玉県を通じて国と入間市をつなぎます!!

政治改革 — 縁く行政で市民生活を豊かにするまちづくり

- ◆ 埼玉県と入間市の連携で企業誘致に向けた産業団地の区画整理を進め税収を増やします。
- ◆ 地域の特性を活かした農業・商業・工業で地域の活性化につなげます。

福祉・教育改革 — 誰もが住みやすいまちづくり

- ◆ 高齢になっても、障がいをもっていても地域・集団で支える仕組みをつくり出します。
- ◆ コミュニティでささえる子育て支援・教育環境を充実させ、選ばれるまちにします。

地域改革 — 広域連携で魅力を発信するまちづくり

- ◆ 自然豊かな住環境と都市的な利便性を活かしたライフスタイルの提供を推進します。
- ◆ 災害に強い地域づくり・生活インフラの充実を広域で進めて安心安全な暮らしを推進します。



本議会での一般質問

活動報告

予算特別委員会での質疑



地元狭山茶を視察



警察・危機管理防災委員として視察

松本よしあきプロフィール

学歴

白梅幼稚園・入間市立狭山小学校・入間市立武蔵中学校
埼玉県立川越高等学校・早稲田大学・早稲田大学大学院

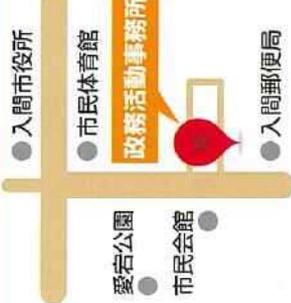
職歴

- 早稲田大学人間科学部非常勤講師
- 埼玉県立高校非常勤講師
- 高齢者福祉施設介護職員（小規模多機能居宅介護・サービス付き高齢者向け住宅・グループホーム）
- 入間市議会議員（3期 10年）
- 現在：埼玉県議会議員
- 前松本居宅介護サービス 代表取締役社長（居宅介護支援事業所、訪問介護）
- (社福) 茶の花福祉会 評議員
- (社福) 剣和 評議員
- 早稲田大学人間科学研究科 招聘研究員

地域活動

- 入間市消防団 元部長（第6分団第2部）
- (一社) 入間青年会議所 第47代理事長
- 入間市商工会 青年部

政務活動事務所に お立ち寄りください



〒358-0023
埼玉県入間市扇台2-1-21
電話・FAX：04-2001-9278

その声

松本よしあき

が かたचितしします!!

埼玉県議会議員



松本よしあき
公式サイト



LINE
公式アカウント



YouTube



松本よしあき
公式サイト



LINE
公式アカウント



YouTube



松本よしあき
公式サイト



松本よしあき
公式サイト

埼玉版スーパー・シティプロジェクト

Q 埼玉版スーパー・シティプロジェクトは、超少子高齢社会に対応するための取組や地域特性に応じたコンパクトなまちづくりDXや最先端技術を用いたスマートの取組など、県内内の幅広い行政分野に関するプロジェクトである。埼玉版スーパー・シティプロジェクトの重要性について伺う。



埼玉版スーパー・シティプロジェクト

A コンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素を兼ね備えたまちづくりを県が支援する取組が、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」である。まちづくりは一朝一夕でできるものではない。中長期的なビジョンを持って今から動き出すのと同じく、10年後、20年後に大きな差が現れる。引き続き、プロジェクトに取り組みむ市町村を全庁挙げて支援する。



松本よしあき県議会議員の
一般質問の詳細はこちら

埼玉県議会HP

ソーシャルインクルージョンの輪を広げる — 認知症 —

Q ソーシャルインクルージョン（社会的包容力）の観点から、認知症の人も地域で安心して暮らすことができるように、社会全体の理解や支え合いが求められる。認知症の方を支えるチームオオレンジの取組を全市町村に広げることの重要性について伺う。

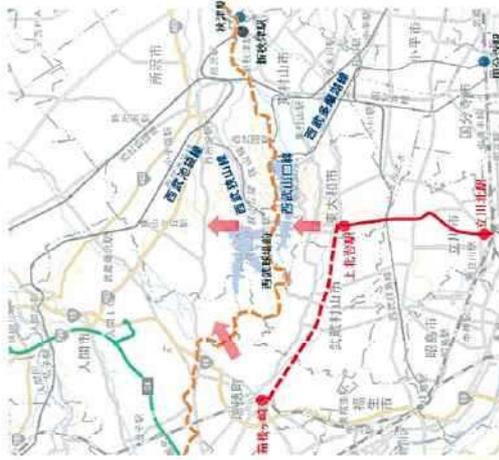
A チームオオレンジは、認知症サポーターなどがチームをつくり認知症の御本人や御家族のニーズに合った具体的な支援に繋げる仕組みで重要と認識している。チームオオレンジの立ち上げに係る市町村向けの研修の開催や好事例の紹介でチームオオレンジの整備が進むように取り組んでいく。



あと数マイル・プロジェクト — 多摩都市モノレール —

Q 多摩都市モノレールは現在、東京都多摩市の多摩センター駅から本県に隣接する東和市の上北台駅までを結んでいる。東京都では2030年代までに現在の終着駅である上北台駅から入間市の隣町、瑞穂町にありますJR八高線の箱根ヶ崎駅までの整備を進めるとしている。埼玉県として知事公約を進めていくにあたり多摩都市モノレールの県内への延伸についてこれまでの取組について伺う。

A 現地の状況から考えられる複数のルートについて、駅の位置や、あるいは移設が難しい建物の回避方法、延伸効果などに関する調査を実施している。毎年度、調査結果を地元の自治体に情報提供するとともに、県主催により交通政策の専門家と講師とし、延伸事例などを学ぶ研修会を開催している。



公共交通の利便性向上検討会 駅2回着から折分
(国土地理院地図・画像)



松本よしあき県議会議員の
一般質問の詳細はこちら

埼玉県議会HP

自民党 埼玉県議会議員

美田むねあき

み た 宗 亮



2024年
(令和6年)
夏号 県政報告

発行:埼玉県議会自由民主党議員団
美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91
TEL:048-951-5826
FAX:048-951-5926

URL <http://www.mita-muneaki.com/>



所属委員会 総務県民生活委員会 / 経済・雇用対策特別委員会(委員長) / 図書室委員会

県議会6月定例会報告

～自民党議員団が提案～

不適切なヤードを規制するための条例を提案・議決

近年、県内各地でヤードと呼ばれる再生資源物を屋外で保管する施設での騒音や異臭、また火災や積み上げられた資源の崩落などが問題になっています。私たち自民党議員団は、昨年秋から不適切なヤードを規制するために調査・検討を重ね、6月定例会において「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」を提案し全会一致で可決しました。

条例により、ヤードの設置は5年更新の許可制となり、許可申請の前には周辺住民への説明や、資源の保管場所のまわりに囲いを設けることなどが義務づけられます。また、無許可でヤードを設置した場合には1年以下の懲役または100万円以下の罰金、立ち入り検査を拒否した場合には30万円以下の罰金が科せられます。



写真はイメージであり特定の施設を示すものではありません。

埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例の全文はこちらから→



ピックアップ 第77号議案

埼玉県税条例 及び 合衆国軍隊の構成員等の所有す自動車に対する自動車税の種別割の賦課徴収についての埼玉県税条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

1. 専決処分年月日及び理由 地方税法等の一部改正に伴い、緊急に埼玉県税条例等の一部を改正する必要が生じたため、専決処分したものです。(専決処分年月日:令和6年3月30日)

2. 改正内容

(1) 個人県民税

令和6年度分の個人県民税について、個人市町村民税と併せて、納税者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき、1万円の定額減税を行う。
※減収額は、全額国費(地方特例交付金)で補填される。

(2) 不動産取得税

- ア 住宅及び土地を取得した場合に税率(本則4%)を3%とする特例措置について、適用期限を3年延長する。
- イ 宅地及び宅地比準土地を取得した場合に課税標準を価格の2分の1とする特例措置について、適用期限を3年延長する。

■改正の概要■

- 【改正前】令和6年3月31日→【改正後】令和9年3月31日
- ウ 宅地建物取引業者等が住宅を新築した日から6か月以内に他者に譲渡した場合に課税しない措置について、その期間の要件を6か月以内から1年以内に緩和す副特例措置の適用期限を2年延長する。
- エ 新築住宅用土土地の減税)措置について、土地取得から住宅新築までの経過年数の要件を2年から3年に緩和する特例措置の適用期限を2年延長する。

3. 施行期日 令和6年4月1日

■改正の概要■

【改正前】令和6年3月31日→【改正後】令和8年3月31日

(3) 軽油取引税

特定用途に対する課税免除の特例措置(免税軽油制度)について、適用期限を3年延長する。

■改正の概要■

【改正前】令和6年3月31日→【改正後】令和9年3月31日

(4) 狩猟税

対象鳥獣捕獲員等の狩猟者登録に係る課税免除及び税率の特例措置(シカやイノシシ等の有害鳥獣の捕獲員等に対する特例措置)について、適用期限を5年延長する。

■改正の概要■

【改正前】令和6年3月31日→【改正後】令和11年3月31日

(5) 自動車税 種別割

米軍の構成員等が所有する自動車について、納税証紙による徴収から納税通知書等による徴収に変更する。

(6) その他

地方税法等の改正に伴い規定の整備を行う。

その他の議案の一覧はこちらから→



パブリックコメントを実施(7月8日~8月7日) こども基本条例(案)の制定を目指しています。

現在、私が所属する自民党議員団 こどもまんなかプロジェクトチーム (PT) は、「県こども・若者基本条例(案)」の制定に向け準備を進めています。同条例の骨子(案)には、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また、子どもが安心して過ごせる居場所づくりや、保護者への切れ目のない支援など、施策の方向性も示しています。なお、自民党議員団ではパブリックコメントを募集しています。(募集期間:7月8日~8月7日)

本条例(案)は9月定例会における提案を目指しています。

※パブリックコメントはこちらから



埼玉県こども・若者基本条例(骨子案)の各条のポイント

- ◎目的(1条)、基本理念(3条)、責務・役割規定(4~9条) ※定義(2条)は省略
- 1条 こども・若者が有する権利を保障し、こども・若者が主体性を持って、自分らしく健やかに幸せに成長することができるとともに、保護者・養育者等も子育て・子育てに希望や喜びを感じ、幸せに過ごすことができる社会の実現を目指すことを規定
- 3条 こども・若者について、個人として尊重され、基本的な権利が保障され、差別的取扱いを受けることがないようにするとともに、意見を表明する権利などのこども・若者が有する権利の保障を規定し、社会全体で子育て・子育てを支えていくことを規定
- 4~9条 基本理念を踏まえ、県の責務、保護者・養育者、学校・園等、事業者、民間支援団体、県民の役割を規定
- ◎こども計画(10条)、体制整備(11条)、意見聴取(12条)、情報提供(13条)、理解促進(14条)
- 10条 計画策定段階から、こども・若者を含めた県民の多様な意見を聴取・反映。施策実施後には、実施状況を検証するとともに、その結果を議会に報告し、公表
- 11条 県において横断的・一体的に連携した実施体制、相談体制、関係機関及び民間支援団体等の有機的な連携等の整備
- 12条 施策の策定・実施・評価にあたり、こども・若者、保護者・養育者等からの意見聴取、こども・若者等の意見表明を支援する人材の育成確保
- 13条 こども・若者の視点に立ったわかりやすい情報提供
- 14条 こども・若者が自ら有する権利に関心を持ち、理解できるとともに、権利が侵害された場合の対処方法を学ぶことができることを規定など
- ◎安全・安心の確保(15条)、居場所づくり(16条)、心身の発達成長(17条)、主体的な学び(18条)、保護者・養育者支援(19条)
- 15条 こども・若者の安全・安心の確保と、犯罪、事故、性暴力、虐待、貧困、いじめ、体罰等の危害から守るために必要な施策など
- 16条 こども・若者のための多様な居場所づくりの推進と、居場所づくりへのこども・若者の意見表明・参画
- 17条 こども・若者の心身の成長・発達のための環境整備と、特に性の問題について、こども・若者の年齢・発達に応じて適切な支援を規定
- 18条 こども・若者の興味・関心に応じて主体的に学ぶことができる機会の確保、体験・遊びを通じた質の高い教育・保育、自然・社会・職業・文化芸術体験への参加、キャリアコンサルティング、就業機会の確保の支援等に関する必要な施策の実施
- 19条 保護者・養育者等への妊娠期・出産期・子育て期の各段階に応じた切れ目のない支援、雇用環境・住環境等の整備、ひとり親支援など
- ◎財政措置(20条) 20条 施策を推進するための財政上の措置等を講ずることを規定

埼玉県日台親善協会

由来をまなび、未来を変える
First Saitama First Taiwan
君子居必撰郷 遊必就士

会員様を募集しております

年会費 2000円
資格 埼玉県に在住、在勤の方
活動内容 台湾訪問・各界との交流、台湾各界の県内訪問・交流受入、講座開催、関連事業支援など

埼玉県日台親善協会事務局
TEL 090-5325-6671
MAIL saitamataiwan2024@gmail.com
https://nittaizen.jp/

シェイクアウト埼玉
~県内一斉防災訓練~

参加者募集!

令和5年度に実施した「県内一斉防災訓練」では59万4千人もの多くの方にご参加いただきました。今年度も大震災の教訓を再認識し、災害への備えと対応力を一層高める機会として、県議会主催のシェイクアウト訓練を実施します。シェイクアウト訓練は、短時間で、誰でも、どこにいても実施できる訓練です

- 実施日時 令和6年8月30日(金)~9月5日(木) <防災週間> ※上記期間中、ご都合のよい日時で実施してください。
- 実施内容
 - 県民・企業・団体が各自で設定した日時でシェイクアウト訓練を実施します。
 - 併せて、災害用伝言ダイヤルの体験利用等のプラスワンの取り組みを実施します。
- 実施場所 あなたがいるその場所(どこでも実施可能)
- 参加登録方法
 - 参加登録していただき、公表に同意をいただけた団体は、県議会ホームページに参加団体として掲載します。(個人名は非公表)
 - 次のいずれかの方法で参加登録をお願いします。
 - 電子申請サービスによる登録
 - チラシ裏面の登録用紙を県議会にFAX(048-830-4921)
- 主催 埼玉県議会

※シェイクアウト訓練その場で
という安全確保行動を、いざという時にすばやく反応するための練習です。

第4期 教育振興基本計画 について

変化を正確に予測することが困難なこれからの時代においては、主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて、新たな価値を創造し、人生や社会の未来を切り拓くことのできる力が求められます。このような力を有し、社会の持続的な発展を支える担い手を育てていく上で、教育の使命は極めて重要です。

この使命を果たすため、第4期計画が定められました。さらに私たち自民党議員団が主導し、議会が以下の点を修正加筆しました。
【修正事項の概要】

- ①魅力ある高等学校づくりを進めるために**新たな中高一貫校、国際バカロレア認定校、専門学科の新設などが具体的に明記**しました。
- ②子供たちが将来に渡って**多様な活動ができる環境に地域差が生じないよう明記**。また、地域クラブ活動の担い手である**指導者は質と量に確保が重要なので明記**しました。
- ③バラスポーツとデフスポーツは別大会で開催されており、聴覚障害者はバラスポーツ大会に出場できず、また県のプラチナアスリート支援事業でも両者は明確に区分していることから、記載を分けました。

Profile ■埼玉県議会議員 美田むねあき

■昭和48年5月6日 三郷市彦成に生まれる ■ちくみ幼稚園~彦郷小学校~城北学園中~高等学校~日本大学商学部 ■あさひ銀行(現りそな銀行)日本橋支店勤務を経て、ミタルマイト工業(有) ■平成21年 三郷市議会議員(連続3期) ■令和5年 埼玉県議会議員(3期目) ■三郷高等学校PTA・後援会顧問 ■三郷親睦会リーグ会長 ■三郷市ボウリング愛好会顧問

■フェイスブック、エックス、インスタグラムでも情報発信中!→

自民党 埼玉県議会議員

美田むねあき

みた 宗 亮



2024年(令和6年)秋号 県政報告

発行:埼玉県議会自由民主党議員団
美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91
TEL:048-951-5826
FAX:048-951-5926

URL <http://www.mita-muneaki.com/>



所属委員会 総務県民生活委員会 / 経済・雇用対策特別委員会(委員長) / 図書室委員会

県議会9月定例会報告

補正予算

【第1号】約50億1千万円
【第2号】約37億8千万円 等を議決

県議会9月定例会は9月25日から10月16日までの日程で開催され、一般会計補正予算【第1号】50億1,156万2千円、補正予算【第2号】37億7,531万7千円、さらに、私たち自民党議員団が提案した「県子ども・若者基本条例」等を議決しました。

補正予算【第1号】は、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や新生児マススクリーニング検査の対象拡大のための予算措置、公共事業の追加・適正工期の確保など、当面対応すべき事業等が盛り込まれました。補正予算【第2号】は衆議院議員総選挙等に伴う経費で、その財源は全額国庫支出金となります。

皆様からのご意見を参考に審議を重ね提案 埼玉県子ども・若者基本条例

「県子ども・若者基本条例」は、子ども政策に子どもたちの意見が反映される仕組みづくりや、子どもたちから意見を引き出す人材の育成・確保に取り組むことを掲げています。また「①子どもらが有する権利を保障する。②子どもらの最善の利益を優先する。③保護者が子育てに希望を感じ、幸せに過ごすことができる環境を整備する。④社会全体で子育てを支える。」ことを基本理念として県の責務を明記。国や市町村との役割分担を踏まえながら、子育て支援などの施策を総合的、計画的に進めるよう求めるとともに、県民や学校、民間支援団体などに対しては、施策への協力を働きかける内容となっています。

施行は令和6年10月18日からです。

※埼玉県子ども・若者基本条例の全文はこちらからご参照ください。➔



通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の経済的負担の軽減……………7,153万3千円

概要

医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する

事業イメージ



効果 医療的ケア児の保護者負担の軽減

新生児マススクリーニング検査に関する実証……………1億4,138万5千円

概要(国の実証事業への参加)

*さいたま市を除く県内すべての分娩取扱機関で出生した新生児

2疾患を追加した検査の対象を**全新生児***に拡大する

➢対象疾患

重症複合免疫不全症(SCID)

出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患

脊髄性筋萎縮症(SMA)

筋力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患

➢実施機関数 25 ⇒ 86機関(8月以降)

(さいたま市を除く
県内分娩取扱機関)



検査体制



埼玉県児童相談所設置条例の一部を改正する条例について

来春、朝霞児童相談所開設(予定)

9月定例会では「県児童相談所設置条例の一部を改正する条例」の提案が県執行部からありました。これは、新たに朝霞児童相談所を設置し、所管区域を朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町とするとともに、日高市を川越児童相談所の所管区域から所沢児童相談所の所管区域に変更するものです。



児童相談所の新設(令和7年4月開所予定)

- 名称 朝霞児童相談所
- 位置 朝霞市青葉台1-2-16

- 期待される効果
 - 所管人口の平準化による児童虐待対応の迅速化
 - 一時保護体制の充実
 - 県設置一時保護所定員150人→180人
 - 学齢児童の居るべき居るべき施設化、年齢等に合わせた学習室の設置

工事請負契約の締結について

(仮称)川口北警察署庁舎建設工事

9月定例会では、(仮称)川口北警察署庁舎の新築工事に係る工事請負契約の締結について県執行部からの提案があり、審議の上、原案通り可決されました。これにより建設工事が正式にスタートすることになりました。



工事概要

- 構造・規模
 - 庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 5,127.88㎡
 - 車庫・倉庫棟 鉄骨造2階建 1,271.16㎡
- 施行期間 令和9年1月31日
- 請負金額 22億1,100万円概算
- 設置場所 川口市西立野地内

大学生と県議会議員との意見交換会を開催

去る10月11日、私が所属する議会の広報誌づくり検討会が主催し「若者と政治との距離をどう縮めるか、若者の政治離れについて ~地方議会としては何をすべきか~」をテーマに、埼玉県議会としては初めて大学生と県議会議員との意見交換会を行い、私もメンバーとして参加しました。

私が担当したテーブルには大学生4~2年生、それに中国からの留学生もいて、自由闊達な意見が飛び交いました。例えば、ドキュメンタリーやゲーム、SNSのショート動画などで政治を中高生に学んでもらうといった入り口の提案や、選挙ではスタンプカードなどで達成感を得られるようにするなど、たいへん参考になりました

こうしたきっかけで若い人たちに県議会を身近に感じていただき、県政や県議会への関心を高めてもらえたらと思っています。



埼玉県の刑法犯認知・検挙状況

1 刑法犯認知件数の推移



2 罪種別認知件数

罪種	R6.8末	前年同期比	増減率	R5	前年比	増減率
自転車盗	9,132	+460	+5.3%	13,622	+3,251	+31.3%
非侵入窃盗その他	3,623	+478	+15.2%	4,881	+1,146	+30.7%
侵入窃盗	2,546	-58	-2.2%	4,212	+1,131	+36.7%
車上ねらい	1,082	-13	-1.2%	1,770	+282	+19.0%
オートバイ盗	652	+180	+38.1%	754	-128	-14.5%
自動車盗	515	+121	+30.7%	683	+77	+12.7%
不同意わいせつ	460	+99	+27.4%	623	+278	+80.6%
自動販売機ねらい	206	-75	-26.7%	412	+130	+46.1%
不同意性交等	149	+62	+71.3%	164	+76	+86.4%
路上強盗	15	±0	±0.0%	22	+5	+29.4%
ひったくり	38	-8	-17.4%	61	-24	-28.2%
その他の刑法犯	14,945	+344	+2.3%	22,449	+1,446	+6.9%
合計	33,363	+1,590	+5.0%	49,653	+7,670	+18.3%

3 特殊詐欺の認知件数

手口	認知件数(未遂) R6.8末	前年 同期比	被害額	前年 同期比
オレオレ	352 (24)	-3	16億2,719万円	+7億2,225万円
選付金	244 (0)	+49	3億9,555万円	+1億3,875万円
預貯金	187 (7)	+97	1億8,861万円	+7,551万円
架空料金請求	94 (1)	-5	4億5,326万円	+842万円
クレジットカード詐欺	65 (1)	-40	7,327万円	-1億3,223万円
融資保証金	7 (0)	+2	317万円	-18万円
その他	19 (0)	+15	2,928万円	-2,388万円
合計	968 (33)	+115	27億7,036万円	+7億8,865万円

※R6.8末は暫定値、未遂は認知件数の内数 ※被害額には、キャッシュカードにより引き出された金額を含む

4 特殊詐欺の水際防止件数

防止区分	件数 R6.8末	前年 同期比	金額	前年 同期比
コンビニ	390	-119	4,141万円	-1,349万円
家族・知人等	388	-9	2億9,689万円	-5,847万円
金融機関	292	+43	2億9,688万円	-2,819万円
その他	161	-24	5,594万円	+3,468万円
合計	1,335	-109	7億299万円	-6,593万円

衆議院小選挙区選出議員選挙結果

衆議院比例代表選出議員選挙投票者数

	三郷市	八潮市	草加市
有権者数	115,272	76,035	208,885
投票者数	58,143	35,262	103,519
投票率(%)	50.44	46.38	49.56

第14区候補者別市区町村別得票数

候補者氏名	党派名等	第14区(合計)	三郷市	八潮市	草加市
加来 たけよし	日本維新の会(新)	28,792	6,546	5,002	17,244
石井 啓一	公明党(前)	60,249	15,528	11,034	33,687
せぎね かずや	無所属(新)	7,486	2,060	1,062	4,364
鈴木 よしひろ	国民民主党(前)	70,608	25,535	13,333	31,740
高橋 やすし	日本保守党(新)	5,514	1,302	884	3,328
なえむら 京子	日本共産党(新)	17,981	5,629	2,911	9,441

※届け出番号順

Profile

■埼玉県議会議員 美田むねあき

■昭和48年5月6日 三郷市彦成に生まれる ■ちくみ幼稚園~彦郷小学校~城北学園中~高等学校~日本大学商学部 ■あさひ銀行(現りそな銀行)日本橋支店勤務を経て、ミタアルマイト工業(有) ■平成21年 三郷市議会議員(連続3期) ■令和5年 埼玉県議会議員(3期目) ■三郷高等学校PTA・後援会顧問 ■三郷親睦会リーグ会長 ■三郷市ボウリング愛好会顧問

■フェイスブック、エックス、インスタグラムでも情報発信中! →



自民党 埼玉県議会議員

美田むねあき

みた 宗 亮



2025年(令和7年) 冬号 県政報告

発行:埼玉県議会自由民主党議員団
美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91
TEL:048-951-5826
FAX:048-951-5926

URL <http://www.mita-muneaki.com/>



所属委員会 総務県民生活委員会 / 経済・雇用対策特別委員会(委員長) / 図書室委員会

県議会12月定例会報告

補正予算【第3号】 光熱費高騰対策費 約9億5,707万円等を議決

県議会12月定例会は12月2日から20日まで開催され、一般会計補正予算【第3号】9億5,707万3千円等を議決しました。補正予算【第3号】は、県有施設等(学校や図書館、信号機や道路照明等)における光熱費高騰に対応するための経費になります。また、防災拠点校の体育館に空調設備を早期に整備するため、債務負担行為(来年度の支出としてあらかじめ決める)限度額5,539万円が設定されました。これは、能登半島地震の教訓を踏まえて、防災拠点校全36校の空調設備の設置スケ

ジュールを前倒しで進めるための措置です。ほかに公共事業等の施行時期の平準化・適正工期の確保のため、債務負担行為限度額258億3,552万6千円(繰越明許費186億3,447万5千円)の設定が議決されました。

その他、私たち自民党議員団が提案した「埼玉県拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例」と「埼玉県中小企業制度融資の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例」を議決しました。

埼玉県拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例

全国初!

拉致問題等の取り組みに関し、基本理念を定め、県の責務及び県民の役割を明らかにするとともに、拉致問題等の早期解決に向けた施策の基本となる事項について定めることにより、拉致問題等を風化させてはならないという決意のもと、拉致問題等に関する理解の増進を図ることでその解決に向けた気運を醸成して拉致問題等の早期解決を図るための条例です。

埼玉県中小企業制度融資の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例

埼玉県信用保証協会が中小企業者等に対する求償権を行使して回収金を取得した場合に生じる、県に納入すべき回収納付金を受け取る権利の放棄に関する事項を定めることにより、中小企業者等の事業の再生及び新たな事業の創出その他の地域経済の活性化に資する事業活動の促進を図り、地域経済の振興を図るための条例です。

防災拠点校への空調設備設置の前倒し <債務負担行為の設定 限度額5,539万円>

概要

長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、**防災拠点校* 10校**の体育館の空調設備設計を前倒し、早期に着手する。

* 備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置等を備えた学校。
全ての防災拠点校に自家発電装置が整備されており、停電時でも空調稼働が可能

今回、整備を実施する防災拠点校

- 春日部高校
- 草加高校
- 川口工業高校
- 豊岡高校
- 熊谷西高校
- 南稜高校
- 越ヶ谷高校
- 飯能高校
- 進修館高校
- 蕨高校

※R7末統廃合予定の拠点校1校を除く
※三郷市内の県立高校は県の防災拠点校に指定されていません

設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定)

区分		R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計	7	7	7	22
	工事		7	7	22
前倒し	設計	7	7+10	12	
	工事		7	7+10	12

今回提案分

効果

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善



三郷流山橋有料道路を利用すると移動時間最大38分短縮 ～便利で快適な三郷流山橋を是非御利用ください～

交通状況調査結果からわかる整備効果及び交通状況変化

三郷流山橋有料道路の利用により移動時間が短縮

《移動時間短縮事例(最大)》

～新三郷駅付近→流山おおたかの森駅付近～

【平日】《調査日:令和6年12月3日》

7時発 流山橋経由: 46分

三郷流山橋有料道路経由: 25分 (21分短縮)

【休日】《調査日:令和6年12月1日》

17時発 流山橋経由: 61分

三郷流山橋有料道路経由: 23分 (38分短縮)



IKEA新三郷のキャンペーンについて

IKEA新三郷では、三郷流山橋有料道路を活用した地域間交流の促進につながるクーポンキャンペーンが実施されています。

【期間】令和6年10月1日(火)～令和7年8月31日(日)《予定》
三郷流山橋有料道路通行の際に通行券またはレシートをお受け取りください。IKEA新三郷で家具雑貨2,000円(税込)以

上ご購入の方で通行券等をレジで提示いただくと500円割引となります。
※詳細はIKEA新三郷HPをご覧ください。



三郷流山橋有料道路の交通量

計画交通量 約12,700台/日
令和6年12月1日(日)4,514台/日
令和6年12月3日(火)3,790台/日
令和6年11月の平均 4,251台/日

【三郷流山橋有料道路の概要】

開通区間 埼玉県三郷市前間地内(県道三郷松伏線)～千葉県流山市三輪山地内(県道松戸野田線/バイパス)
延長 約2.0km(うち江戸川渡河部の橋の長さ約450m)
車線数 2車線(暫定)
事業者 埼玉県、千葉県、埼玉県道路公社
着手年度 平成25年度(平成30年度より有料道路事業導入)
事業費 約217億円(うち有料道路事業費84億円)

通行料金 (1回あたり)	車種	普通車	中型車	大型車	特大車	軽自動車	軽車両等
通行料金		150円	200円	260円	410円	100円	20円

※軽車両等は原動機付自転車、自転車などが該当します。歩行者は無料です。

【決済方法】現金のほか、キャッシュレス決済(交通系電子マネー、WAON、ETCGO)が利用可能です。

地域商業・商店街活動応援事業補助金追加募集について

私が委員長を務める経済雇用対策特別委員会で行った課題です。県内の商店街数は徐々に減少していますが、県が進めるコンパクトで住みやすい街づくりに商店街の活性化は欠かせません。県では元気な商店街の取り組みに要する費用を助成しています。

商店街の賑わいづくり・施設整備等の支援

(1) 取組内容

- ア 商店街の活性化を図る以下の取り組みに要する費用を助成
 - ・集客イベントなどのソフトや事業
 - ・街路灯LED化、防犯カメラ設置などのハード事業
 - ・ポイントカードのデジタル化等による顧客データ分析などDXの推進
- イ 商店街の課題解決にむけてアドバイスを行う専門家を派遣
- ウ セミナー及びワークショップにより商店街の活性化に取り組む人材を育成

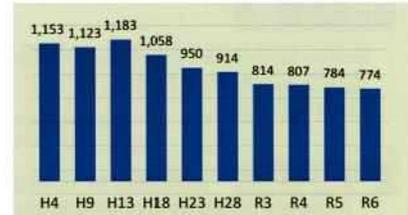
(2) 事果実績(令和6年10月末時点)

- ア 補助件数・金額
 - ・ソフト事業補助 件数: 21件 金額 592万2千円
 - ・ハード事業補助 件数: 11件 金額 1,561万3千円
 - ・DX推進補助 件数: 48件 金額 795万0千円
- イ 専門家の派遣 件数: 48件
- ウ 人材育成
 - ・セミナー参加者 : 61名
 - ・ワークショップ参加登録者: 35名



集客イベントの例
(秩父市・みやのか商店街振興組合)

県内商店街数の推移



出典 県調査

※補助金に関する詳細は
県ホームページをご覧ください→



Profile

■埼玉県議会議員 美田むねあき

■昭和48年5月6日 三郷市彦成に生まれる ■ちくみ幼稚園～彦郷小学校～城北学園中・高等学校～日本大学商学部 ■あさひ銀行(現りそな銀行)日本橋支店勤務を経て、ミタアルマイト工業(有) ■平成21年 三郷市議会議員(連続3期) ■令和5年 埼玉県議会議員(3期目) ■三郷高等学校PTA・後援会顧問 ■三郷親睦会リーグ会長 ■三郷市ボウリング愛好会顧問

■フェイスブック、エックス、インスタグラムでも情報発信中! →

